界 ・ 注 鈴 人行登 治代喜 本橋 人輔編 盛 武 村 本 人制印 地番一冊町闌公東市連大 比報日洲南社會式條所行發

白衣勇士凱旋 十四日午前六時着連 ませう

でである。 現つてゐる蘇聯邦外務人民委員 リーヴィノフ氏の激怒を買い、 リーヴィノフ氏の激怒を買い、

る族職類外務人民委員 特別分科委員會を召集して難策を ノフ氏の概器を買ひ、協議中であるが、問題が問題だけ にもたサトヴィノフ氏 に恐らく職業には治づくまいご題 にもたサトヴィノフ氏 に恐らく職業には治づくまいご題 にある。

能滅に 皮質拠までその要求の 質能

容解消せぬ故最少限

務省ご協力し

喜察官招聘

民政部警務機關充實

鑛業調査に

末廣九大教授

(仕様のない不精者だわ。人の氣

だいではなって、メリの音の が発まずにはあられなかった。 はないないではないなからも、

「出られない?」 [311/400-]

けさ歸任の途に

切り小園側からの反野意外に多くの職器加入問題に最後の鎌根を変

され無味である、しかしこれでは、また第一に傷害院の場合にも反するこれが移動を動きにも反するこれが移動を変しるできない。即ちまれば接着の存在は無視されば接着の存在は無視されば移動を表しまればなるのでは、 リ氏激怒 聯盟側大狼狽

では、 ・ できため十一日の理事会が特別の双方の面目では、 ・ できため十一日の理事会が特別の双方の面目では、 ・ できため十一日の理事会が特別できた。

れないのは遺憾であるこの意見が 西尾參謀長

戸より大連総由勝低の途についた下ので十三日午前九時東京縣登舗 に近づき中央部との打合せも終 招請修正に

成り、滿洲國より

斡旋を依頼してゐ は十四日午後四時登内地に向ふ答 総て日本内都省に 用を決定するここになつた、同氏の充門方針を樹て 粉料長が派遣され内称省と協力採過画通 新年度像第 人物考查委員さして川人民政部特

海軍の新規要求 分の一に削減 大藏省の第一回査定

かしてゐた。 すぐ反勝するふみ子は、書きた果 すぐ反勝するふみ子は、書きた

「あら、ひごいわ」

を秘めし人事貨物語!

ハスターの多彩、

介別の名前録

一讀、大熟狂!大感動

見ちやつたわし

らないからの続しがり屋のくせ

「その後で(或後の出來事)なで、「それより三枝に晩菜軒(支那

りが絶えてしまつた。

れッきり、またフッツリたよう簡単なエハガキが來た。

「どこへつて

より三枝に晩菜軒(支那料

訂畫の遂行を運延せし 電見を終つた有吉公使は全朝七時 動見を終つた有吉公使は全朝七時 滿鐵重役會議 ある(寫真は末廣教授)

有吉公使歸滬

雷生養關鍵

の涙を秘めて火の如き苦酢と情

原邦する秘密

相は

入つて昨年同機融硬なる復活要求さの見地から事務當局の交渉期に のさ見られてゐる

▲ 酒村長七氏(谐囊、> / 長)同上歸任 人 酒井清兵衛氏(洪南藏路局副局 ▲ 入江正太郎氏(満電専務)同上 三日午前九時發はさて北行 三日午前九時發はさて北行

(江崎重吉氏(大連鍛道事務所長) 「本村長七氏(満繊ハルビン建設

蛇角

さしつゝわり、今次の運動の概本思想が女武各々分を守るべしさいぶにあるだけに内地の政界に紫したが、十三日は大連なはどめ金滿に波及し、昨年の滿頭吹組踊ぎ以上の魔滅な空氣た濃らせて来たしたが、十三日は大連なはどめ金滿に波及し、昨年の滿頭吹組踊ぎ以上の魔滅な空氣た濃らせて来た底滿破構吹乾問題に對する内閣の裁師が按砂翁に不利さなるや、陽東廳省東の反對運動は傲然自然化

命さする者情 認められざる。

けさ大連五署員五百名

に宣誓祈願

(でも、着く早く、病縁でももて 「附き合つてもい、けど」 「そんなにいく!」 き合たまへよ」 「そんなにいいなら、

一家へ嫁るのに引き替へて、ふみ子 は一人で暗い破外のアメートへ嫁 前に、心にもないお喋りを続ける 何でもいゝ、戦を他なければなら 一千楽の歸朝するまで、何さかもて 一千楽の歸朝するまで、何さかもて さうした合間合間に、ふみ子は

人に、恨を忘れて軟ゆる美数の情でいる。

岩の鮮

贄刻お求め下さい

講談俱樂部第二附錄

3 の神養が兼り開来順事務観察しのため來版中であつた関東長官参 ルは變つ 極議で、正式、決定を見るこさ、なつた、職職状态の上に洪継殿において直に能嫌並にとれに附際する洪規の記電十三日發』 経済機構改革製は旅跡館の強硬なる短點にも描らず、既に腰軍、外移願なの意見一致により 議會の協賛を求むべ 翻接規案脱稿の上欄所に何節職を然識するわけであるが、櫃府が憲法問題に絡んで相當論議を行ふことで正式決定を見ること、なつた、職議決定の上は接継扇において直に電観並に之れに附帶する誤規の立案を行ふ殴 杞憂し動くは慎まれたい **参刈開東長官語る** 豫備金より支出すべしと主張するに對し藤井藏相は豫備金支出を違法ながとな可決した後の問題は機構改革完施に律ふ総費の支出であつて、陸軍共他の方面では急速なる策理を必要 陸軍は萬 遺算なきを期点 事銓衡 除りに 軍部 間田首権 の 貴院同成會の 折衷案批判 要を主張

前八時五十分窓に被疑者として撤起してゐる三土前級様は十三日午

取られて否認したことが虚偽である方面から贈興されたのな会然受

さ検事局に召 に関し三土氏のいふ

にあるここが明確によって、受取やうが、それいから飽くしていから飽く

定に對して海軍では左の見地より 【東京十三日数回通】第一回の背 海軍側の 反對理由

新京關東廳員

▲酒井隆氏(支那駐屯軍参謀長、

▲高根縣移氏事情視察團一行十 ▲深川選氏(著述業)同上

【新京電話】新京蘭東郷々員会部 は遂に最後の肚を決め十一日の新

の決議

上版した

反對運

熱化

十名除の職員が集合、高機郵便局 京署を體育趣に次ぎ十二月は午後

理の常

志の質徹に邁進せんここか期でるが如き折衷案を排じ回まで初れるが如き折衷案を排じ回まで初れるが知りません。

鳳凰城署員の

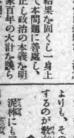
連名狀作成

対なるさ、産婦内貼子さん な嫌ちやり 子供達の何人かはまだ「ソンナ しき願いてゐる。

(国風城電話) 風吹媛警に中央 により探弥楽經野忠坂を贈すべく により探弥楽經野忠坂を贈すべく

京際栗の蟹風は困つたものだ。校長排斥の次ぎが鐵鉛制裁、新

るのが教育者の場合 1 し その構力の捌け口を善いている。 中學生に







大連五署員の宣誓祈願

一長の宣誓文訓練

防署長の指揮で一同忠義塔に曖

安東署員

の決意

けさ辭表を取纏む

世滅世間改革問題に

金州職 本廳に送達 では京大場局長等を 要路にと、外殿窓の党族に即せざ をは大会を聴き左郎池議し居銀二 をは大会を聴き左郎池議し居銀二 のでは、頭に十二日第二 のでは、一日第二 署員の連名狀を作成悲壯なる決意中央要路にこの旨打電、同時に全







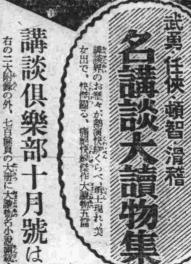




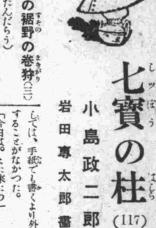


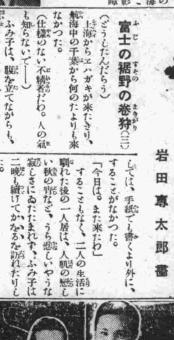


















滿鐵都市對抗野球

ふ仲秋上丁祭

山城鎮に匪賊團

邦人は領事館に避難

型コットで死の漂流をつざけるこ 撃風雨に遭遇し木の葉のやうな小 でである。

る八日朝來の暴風雨に襲はた支那海な横斷長崎に向ふ途中

場までの間は邦

地人な流域したバス とストリヤ部から式

デワ階上へ

この世ナガラの

万事務所長島一郎パは十二日午安東慰問感謝 満郷安東

後は春概を撒げ宛然日本概形では、定城市の場所をおげぞれば、定城十一時間に探式開始、正時間に探式開始、正時間に探式開始の上

秋の一夜なった。

一般氏令嬢

洋州家二瓶等

別式は十四日午後日午後六時四十五

附近は参照者で

碑には朝来からりま

大 ルーホスンダ檢

大連神社月次祭 大連岬

坂井商店

街本町運り

大选市

十一時コン大場

滿洲國皇帝、鄭總理を派せられ

新京で莊嚴に執行

一六日より大連で争覇

優先權を與へる

日午前八時大連入港の長平丸にて日午前八時大連入港の最平地に新野野の一大連八時の最初の一大連の一大地で大学の大学の大学の大学である。

人事課當局では語る

万針決定に

採用者が決定して後内地域をが是がため中等學校は消

漂流四日間

ツト長崎到着

に感定されてゐる、耐じて中等歌、戦門縣校卒業生に暗り成識に二分一以際な事業生は昭和八年

こして六ケ月試傭日給一個六十銭

支那側

六

つては聖敵悪因縁

成

に執行

六郷七三十年祭式與

び除場あり締めて盛動連に午後四

十三日

ル

ビンの盛儀

第十六共同丸 千里島で 海事審判々決 阿波共同 四湊審判委員長、江原、鹽谷、木村 各委員出席のもごに海移局審判室 に於て閉延當時の一等連制土駐本 に於て閉延當時の一等連制土駐本 可に對し来利通り被 所有十六共同丸 千里島で 所有十六共同丸 千里島で

販賣仕り候 防寒、毛皮、乗賣 一、露西亞隆(刈毛染羊皮)参 萬 枚 一、露西亞隆(刈毛染羊皮)参 萬 枚

年度採用方針決る

子三百一名の多數

量採用

を携

ての内容の豊富

新京で日滿美術展 する場の製地音楽器並びに十六8次音せて十七幅を繋城沐浴の上

中學生の追撃に

君遂に参る

秋の軍

運動場で大立廻

て有無を言はさず取押へころな又多際の中學室が石修脚の泥片もへたばり

たさいふ中學生協力の探偵部

知力を示しなが

があばれこれが輸来

大人の中學生、二中のグラウンドで享受が表類、時間等大とは関するなった。 が表類、時間等大とは関するなった。 が表類、時間等大となったが、これを選集権であれたが、とからのでなる。 では、一世の時期数に機能した。 の時期数に機能した。 の時期数に機能した。 の時期数に機能した。 の時期数に機能した。 の時期数に機能した。 が表類、時間等大となったが、これを選集を負ふた、多数に無勢で販売なったが、これを でいたが、これを選集を でいたが、これを のでなる。 には、 でいたが、 のでなる。 には、 でいたが、 のでなる。 には、 でいたが、 のでなる。 のでなる。 には、 のでなる。 のでな。 のでなる。 のでなる。 のでなる。 のでなる。 のでなる。 のでなる。 のでなる。 のでなる。 のでな。 のでなる。 のでな。 のでなる。 のでな。 のでなる。 のでな。 ので

中ででする輸送を行ふこととなったの間が、の場所のでは、一八日午後七時から協和金館に於って満州事態の株配着たる最谷部縣一

| 東田二七三 振替KへのN四 | 東門の銭谷へ | 東門の銭谷へ 顔料(るのぐ)

クレイヨン・化粧用種の場所用●などののでは、一般を表現のでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、

将新に、亦何座版に、スマートな かンノの机さ書棚を開催へ下さい 書棚………六。五〇より

飾装内室で具家洋

逆座湿街航过生大

2

書

たの検航院半十名を引連れ十三日人 一の検航院半十名を引連れ十三日人 一版 港のはるびん丸で来連らたが 棚中 一本日は味風 社会式株品賞スーソクツドルブ 京東 専売特許

ローバネオン

大連 電ニニニ四六 事天 電四九三 六 事 元九二二



移民事情視察

る移民事情主視のため際ド

型ルブーテ新

∘ ーハのーJ (三一七二六条登山) オツキサマ

第二十三日登園道 十二日名 古座に開催された日米限上競技会 中の優秀能像は破地投タン十五米 二八(日本園宗新記録)高田十三 ティ二米(日本園宗新記録)高田十三 ティ二米(日本園宗新記録)高田十三 米カニングハムム四分四秒六(日 米カニングハムム四分四秒六(日 米カニングハムム四分四秒六(日 米カニングハムム四分四秒六(日 米カニングハムム四分四秒六(日 米カニングハムム四分四秒六(日 米カニングハムム四分四秒六(日 米カニングハムム四分四秒六(日 米カニングハムム四分四秒六(日

約店でお求め下さい

日米競技 日で本側できる美数に優めなもの、キャット を記憶が減り小いで歌が強く、人間をで本側する美数に優めなもの、キット を受ける美数に優めなもの、キット を受ける美数に優めなもの、キット を受ける美数に優めなもの、キット を受ける美数に優めなもの、キットを表すが出来て、悪いいでときってるますが、本書の手切でときってるますが、本書の手切でときってるますが、本書の手切でときってるますが、本書の手切でときってるますが、本書の手切でときってるますが、本書の手切でときってるますが、本書の手切でという。 本書者は和歌山市片時間(城の側) 本無者は和歌山市片岡町(坂の側)

名古屋の

六長と帝的海

要なこと たらかけて来たらまた何時でもやつつけるが、そ たな親力は先づないだらう(窓

てんかん 中風・ヒステリー 中風・ヒステリー

!歩進の造構

! 段値の頃手お ラロトクビ



西の風(晴)時々曇 満潮(午瀬 〇時五五分 千潮(午瀬 〇時五五分 千瀬(午後 七時〇五分 各地温度 天気予報・

大連洋裁院 生徒諸姉に告

齊王日本視察

十月初旬出發

今度二女雅子死去につき

大連市聖徳街一丁目七三番地ノ一



方洋服店

歌行流堂 虞美人草の唄

東:林太郎 渡 迈 流子郎 1000

頭痛ニノーシン

赤城の子 守

HORO

狂亂のモンテカル 奥田良二

集

奉天の式典

を領事館に避難さしめ

定にて日本を訪問することとなった。電視日本の文化その他語事情視察意味を表情がある。 ハ警旅大

今日の小洋相場(計)

二五 新義州 二五 新義州 二

爽凉に 寶玉の抒情調

さんの家の前

親を探して驚いたいと戦んださい

お美夜さいふ女の子は、居るか

映畵界空前の

歌歌を粉色中であった インキシノフ、並びに馴殺戮いアを践では先般米歌者に 治滅するは「アジアの臓」の名優となって の生んだ巨匠トウジャンスキー、過ぎなる無険さなって の生んだ巨匠トウジャンスキー、 本社後援で日活館上映 佛國映画界の名花ダ

トンネル」と、咆えろヴオルガ」



今日知れた。

あたいの父や

(可認物便郵種三第)

(224)

たばかりの頃。 ては、大作、其方は此處で待つ

でおきも加つてなるであらう。 あに衝突んて、 に衝突んて、



全消各 入連·奉天·

地 特約電氣會社天。新京。安東。鞍山

電氣株式會社

新鲜·優良 **内外第一品**



和室向、洋室向、家庭用在庫は極めで豐富です!!

器具の御撰定が容易です!! 價格低廉、品質優秀!! 來ますから御買入れが極めて便現品見本により自由に撰定が出器具の意匠、品質は多種多様の 優秀な製作所と特約し、大量仕 各種豊富に在庫致しあります 入と合理的販賣組織により價格 は極めて低廉であります。尚各

まで配達致しますから、運搬 使用現 宅の店

地支店で御購入が出來、

具の考案製作の御依賴に應じ計、照明設計の無料相談並に

せん

鍼灸術專門

英國製高級煙草

模範的頭痛藥!

胃腸をこわされ

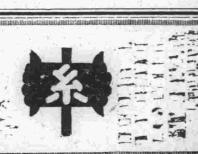
十本。二十本。五十本入

の破損其他意外の費用が要り

共 進 洋 行

種、魚粉、骨粉、蠣殻肝油を製造販賣





下一才术首带 品心〉 何ひさ



善井 町形人市京東 鈴本





織物同業主催

染織見本市

來月、四五兩日大阪で開催

世界第一

上半期輸出は五萬噸

界亞勸業更生案を否決 間 當分消極方針持續 ミ満鐵

、せればならの問題なのでさきに満級が代つて三百萬國を支出し、東亞勘樂の手をまり建々さして進ます、殊に移民助扱ひの機配、ら未だに決定せの有様である、まり建々さして進ます、殊に移民助扱ひの機配、ら未だに決定せの有様である、

版表の伝統の 医事株式室社は州内の邦農 に別の事業でならてる。 事件式室社は州内の邦農 この の事業でならてる。 事件、 人連農事も 高分現狀を維持 - 東集を再開せんごする機運な生 小して明年春より久しぶりに移 の資金な道線

できる、しから諸叛を続きしては襲撃 移民に繋する政策は大艦に於いて では極いないかとる関心を ソ聯胺道連輪機關に全度は收入低 下の慣みが採上つた、即ち近着の 下の慣みが採上つた、即ち近着の

の方はや、進歩な見んさ

るであらうさいつて悲鳴な揚げて 機近く到着

◆ に更生を期する際目紡織食社は目 合同して二百五十萬個の資本の下 のでは、一個の資本の下では、一個の資本の下では、一個の資本の下では、一個の資本の下では、一個の資本の下では、「一個の資本の下では、

日の治文を製し近く 雅智するが 更い 下新機械を大阪と英國とに約百萬 設中で本年末には

大沙河の 古田戦能大連支応支配人は東京において開催の軟銀支店投資職に出おいて開催の軟銀支店投資職に出来手着はさにて帰低、左の通り

鹽田計畫を放棄 賠償金交渉が纏らず

新豆出廻り

大連取引所特産市場は単顕存貨域 の概要を織けてゐるが、製地方館 の概要を織けてゐるが、製地方館 の概要を織けてゐるが、製地方館 の概要を織けてゐるが、製地方館 のでは愈々本年度特産出週期 品質概ね惡い

大連輸出

二車調着したが、それによるさ本画の新豆一車が大連事態に鐵鞭し今にあり大野働店接にて衛主衛田組に大き、大連の野田・一里が大連事態に鐵鞭し今に カリては輸出不協て、 助いた仕向方面別に見れば かれた仕向方面別に見れば のれた仕向方面別に見れば のな調響に終す は何いも写信期に揃らす 技程版を除く)は日本即 技程版を除く)は日本即 激増を示す 一十二パーセ

林米

水越**樣式店** 大連類意里充立:

錢 奥 地

相

泰天默(秦 天

妙 票(現物

104,00

おうだが、何時代現する事やち 事無機質はの方へ移行してゐる





る 院き世界の加里埋蔵がは二十五億 至三五〇米であるため探猟に極め 加里の生産展盤を見るに、ソ職を しかも共産の激度館かに三〇の が、今ソ職邦に於ける 館に當る百六十億戦を標せられ、 場けされたが、今ソ職邦に於ける 館に當る百六十億戦を標せられ、 といり、一旦の地震には、一旦の地震には、一旦の地震には、 「他のであるだめ、一旦のの。」 は不満勝二金銭所及び営業機関してる関係を磨すべきものに関して

新京の聯合總會へ連商議の提案

全調機器 無今会では 監報の如く十月六、七の腕目新見に於て定難職令總金を監解し、 類下の確整語験に つき協議する に まって に なったが大連衛工会 静所の 本總金に 難する 虚裂して こと、 在 一、 日 南 無 漕 統 制 の 根 本 策 の 確立 と そ の 施 行 機 間 の 略 帽 一、 年 南 西 南 正 、 在 南 南 高 正 、 を 下 の 唯 立 と そ の 施 行 機 間 の 略 帽 一、 年 南 西 高 に 重 大 参 男 要 と と で た か に き こ と こ と で き か と で す と で す と で さ か と で き か と で き か と で き か と で き か と で き か と で き か と で き か と で き か と で き か と で き か と で き か と で き か と で き か と で き か と で き か と で き か と で き か と で き か と で か と で き か と で き か に か と で き か と で さ か と で き か と で き か と か と で き か と で さ か と で き か と で き か と で き か と で さ か と で き か と で き か と で さ か と で き か と で さ か と で さ か と で さ か と で さ か と で さ か と で さ か と で さ か と で さ か と で さ か と で さ か と で と で さ か と で と で さ か と で さ か と で さ か と で と で さ か と で さ か と で さ か と で さ か と で で さ か と で で か と で で か と で さ か と で で さ か と で さ か と で で さ か と で さ か と で で さ か と で さ か

改革問題で誘駆してなりその成石は注。 第二の概論案は11下統綱重大政治問い第三の概論案は11下統綱重大政治問

株式

大豆强

調

加工の講習會

し(單位經合印は減)

地株新安住 地株新安住 地株新安住 地株新安住 地株新安住 地株新安住 地大 新三面八十鈴安、東京短 新三面八十鈴安、東京短 新三面八十鈴安、東京短 明安、日産住四面二、三十鈴安、東京短 別庭で新安値に上り、新豆袋砂も 日産三面七十鈴方の暴落、土木も 日産三面七十鈴方の暴落、土木も 日産三面七十鈴方の暴落、土木も

蘇安 對哈 幣新 幣用 國金 學 金 國 對京 對原 學 銀 果 製幣 金 國 幣 對 富 實 現 現 先 假 國 物 物 物 物 I.o. . .

肺呼吸器

淋巴腺炎及费高丁良

日報(廣告部

電話四四九一番

医学博士 西公園田春日小学校前 **電話六五六五** 腎臟 婦慢

血 肋 膜 及 **心**性諸病 X 線 完 備 入院隨時

無約書河入用の方は 田三十三年創立 誻

部 本西 段 南 堀 戸 江 版 大 所京京東 福禄福京京東

眼 場馬 江庄锡馬 八七五八話電・話擺盤常連大

掛

井上醫院 生殖器障碍 電 話五二六〇番

外科 七町の吉市連大

支店 電明長年

東松野 代是高高 るあで法殖利の的理合

北満貨物保険の 擔保割增金引上

限度が深いの

三日前場上替兵を たる薬郷振りを売してたる薬郷振りを売してた

銀塊及為替 銀塊及為替 銀塊及為替 銀塊、三片六分二 同一先物。三片六分二 三片四分二 三片四分二 三十四分一 三十四分一

五品新安 內地主力

地に輸出され

市場電

六十錢安、鐵新二圓八十錢安

限 完全 杂的 次引 寄付 大引

北級南部線到着後一週間後目十五後、二週間後目十五段、二週間後目十五段、北後東部線、西部線一週間後目二十五部線、四十段、ボクラと、二週間後目三十五段、二週間後目二十五段、二週間後目十五段、二週間後目十五段、八段)

関金さ新安値に際語

職業協言に依頼し、技術総の派型に無対に置み、政北海線では無対しての知識が普及されて居られため

庶民金融機關の

充實が必要 古田鮮銀支店長談 飛影響を及ばすことになり、他全な園氏の貯むり、他全な園氏の貯むと記者を脅かか、金利生活者を脅かが、息給のにこれ以上金利の低的にこれ以上金利の低いた。 更に四年

は大変を を表金社にも下が総合は、10 を表金社にる端州海陸 大学に制造の が、各談中に内地及の報覧において総業を開入 を購入 送去日間道際流動を を開める が、各談中は内地及の報覧において総業を配置の が、各談中は内地及の報覧において総業を配置の三世 音生は海技術原文を継続してある。 株子の原理に 替生は海技術原文を継続してある。 株子の原理に かった おおけ では おけ では から と は いら と は から と は いら と は い

大方面も同意見のやうに親は、惣続も成立に行るべくてもこれ以上極端な は避くべきだ た近く平に丸(六、六七一トさ考)であるが中央における有 平明丸(六、六七一トであるが中央における有 平明丸(六、六九四トン)

ントの需要

□ ける大豆は輸出めの質別が下豆は輸出めの質別がす関散ながられ、十月 を対かず関散ながられ、十月 を付ける。 でて変隆四〇三井三〇日清三 でて変隆四〇三井三〇日清三 でて変隆四〇三井三〇日清三

今定 期(單位後) 寄付 高值 安值 大河 新近 111号 111号 111号 出來高,百五十五萬圓

海外市児は論数展塊現物元物共十六分一安、細育銀塊同事、米英クロス十ポイント安米 支為替三仙安、米日為替二仙安ル同事、土工五、洒虎九六個九二五、大洋九六國五二五、洒虎九六國九二五、大洋九六國五二五、洒原九六國九十八國越、標金一、二元高な人れ門市紗察り氣樂薄閑散で二十錢安に止めた

銀金 爲替相場

無 当中教 14、0四、81、2回 金 1、马元枚 8、次14、3点次回 金 1、马元枚 8、次14、3点次回 金 1、马元枚 8、次14、3点次回 海標金 九九五五四元 五五五元 元二二二 二二二四元四元

上海で高大日 | 上海であります。

定期食合高 (十二日) 定期食合高 (根入) 京和 六〇一千枚 〈三千枚 三十九四軍 九四軍 九九七軍 四軍 四軍 一二四〇百箱 〈五百箱 上 七〇四一九〇

各限二、三個安ご崩落し當 五、六安、印棉保合、大阪 米棉現物二十ポイント安 尿器

| 電長五四七二・八 **B**7

株の知識

今射越

日步

在滿機關改革問題

Ē

清寒・ で、養本お養経療の観角からは在 観じ来れば監然にして必至の成行

事的な資本主義

をやうだが庭上の事は てゐない、併し政府家軍 され、ば拓易で、

おりまり市役所では十三日午後二時三十分より市役所樫上に繋続市会を 一十分より市役所樫上に繋続市会を が集、米陽市長、岸田助役、村上 が集、米陽市長、岸田助役、村上 が集、米陽市長、岸田助役、村上 が集であるさいへるから、ア 温権を回避する必要がない譯だ

おり大連市大連劇場に州

出氏さ同じく変職罪は構成せれが 一主氏は事態ないこさは認言はが る、中島男の最近の陳遠は融立であ ま氏のきころへやつたさいふので 土氏のきころへやつたさいふので 大氏のきころへやつたさいふので 大大のさころへやつたさいふので 大大のでである。 大大のである。 大のである。 大のでなる。 大のでなる。 大のでなな。 大のでな。 大のでなな。 大のでななな。 大のでななな。 大のでなななな。 大のでななななななななななななななななななななな

戦に、在湖機脈の現内閣が其の指標の

過か待つ答の方針が一感し機つたのでスローモーションで

大使、法制化

から無暗に騒ぎはしないさ思ふなで傳へられてゐるがその人達るさ傳へられてゐるがその人達なは何れも心得のある人々である

東洋協會語學校に参集意見の突換

聞くまでその目的の質

五十株の行方が問題ださ云ふここと経験に否認してゐるので檢事局とこま氏がかゝるここを然無してゐるので檢事局とこま氏に違り今日に至った。 ち襲称に既認してゐるので檢事局といから三士氏に違り今日に至った。

工場主側强硬

满

岩合製版所

幾ら飲

N

行の盛大なる送別職餐会を開く後、 後大時より機理官邸に山本代表一

一辞
競短
期
領
獨
學
で

醉は

ILE

成夫氏

方行政の解新に

在滿新機構本年內實施

滿事務局初代 適任、小磯中

かに各種の手續きを執つて質施する事(三)勅銭の俊つて送師院において電師を継定櫃府御節師の手なつた(一)同窓は際診泥室の上は窓の内容の重大性に鑑み上奏勅銭を傾ぐ事(二)同窓は可及的速では同窓の重要性に鑑みこれが實施の方法に試き跡所と突渉した結果大陸大の如く手續きを執る事と、東京特電十三日繋』政府の花満機構改革解泥案は十四日の閣論に用議波定を見る事になつたが陸軍

早くも月旦に上る。

本願附山下少將、陸大幹事小畑少將等の内より選ばれるものと見られてゐる『寫真は小磯師劉長』
「本願附山下少將、陸大幹事小畑少將等の内より選ばれるものと見られてゐる『寫真は小磯師男長』
「本願附山下少將、陸大幹事小畑少將等の内より選ばれるものと見られてゐる『寫真は小磯師男長』
「本願附山下少將、陸大幹事小畑少將等の内より選ばれるものと見られてゐる『寫真は小磯師男長」
「本願明上下少將、陸大幹事小畑少將等の内より選ばれるものと見られてゐる『寫真は小磯師男長』
「本解附山下少將、陸大幹事小畑少將等の内より選ばれるものと見られてゐる『寫真は小磯師男長』
「本解附山下少將、陸大幹事小畑少將等の内より選ばれるものと見られてゐる『寫真は小磯師劉長』
「本解附山下少將、陸大幹事小畑少將等の内より選ばれるものと見られてゐる『寫真は小磯師劉長』
「本解附山下少將、陸大幹事小畑少將等の内より選ばれるものと見られてゐる『寫真は小磯師劉長』
「本解附山下少將、陸大幹事小畑少將等の内より選ばれるものと見られてゐる『寫真は小磯師劉長』

政府は同日吹草髪の大線を公表する密である問題はこれで大麒園を見るわけである『東京十三日養國通』在藩機構問題は十四日の縢譜で正式決定を見る事さなつたが

州通過確實

の人には

無暗に騒ぐも

か

「東京特電十三日發」三士氏に黙する競事局と歌歌狂の五順の恥調 た糖まれて實つてやつたさか云ふ ので中島株の處分間聴に就いて かので中島株の處分間聴に就いて かので中島株の處分間聴に就いて

田兼攝拓相談

変めてあるものである に策動の起るを恐れまた来議會に に策動の起るを恐れまた来議會に に策動の起るを恐れまた来議會に

には、まったのである。 をれる人を理の通つたものである。 をれる人を理の通つたものである。 をれる人を理の通つたものである。

のき大連神明女學校、出され度き旨な要表し 中學校に集合し東に打中學校に集合し東に打

夫人と共に皇后陛下に拜謁仰せ付て信任狀を捧羊、陛下に拜謁の後て信任狀を捧羊、陛下に拜謁の後大使ソーザ氏は午前十時半鳳凰間一 の現地の形容を促 しての最後的 學校靜觀 能能解散会議を終つた を述べ終二時間に取り を述べ終二時間に取り を終つた

【サンフランシ スコ 駐獨大使更迭



二土氏偽證事件

政治問題化は必然

米織工罷業團 秘書役帶同十三日午後四時二十

で取織められす窓に空に向け登時に で取織められす窓に空に向け登時に出向 で取織められす窓に空に向け登時に出向 で取織められす窓に空に向け登時に出向 を表する。 で取締められす窓に空に向け登時に出向 を表する。 軍隊と衝突 ▲渡邊中慰婦監─関東軍秘醫部長ン分養列車で北行 伊藤信介氏(獨逸通商代表部顧

▲榊谷仙次郎氏(土建協會長)十 山謙二郎氏(森山組組合長) 氏(満洲幽宮內府內務處英氏(同副組合長)同上

知事は 窓に警備 軍に動 真命を要ったに 大化に だいたロードアイランド州 大化に だいたロードアイランド州

は金然知られこまでまた最終英造。

全権の仕事に除って変が関東 殿内の沸騰を尻眼 人の言動の中に

なった、原政は工事治師が郵佐委 を記さなかったことにある 「東京で不可能さ見て手を引く事さ が開始名の調度を観査し窓に起を投 が開始名の調度を観査し窓に起を投 が開始者の需要し放射を燃酸感を はいついたが、十二日に至り大統 では、一日に至り大統 令傳授山本少將に訓 東殿殿殿のために却て好都合え出

た。 た。 た。 なの外、以下 なの外、以下 ない。 ないでは、 ない

一讀あれ。ハ語の表は次便を説明 学者は悉く先 伦前の講義録となる指導

講義録による研究

がないさは自訳であるから属 家酒だが、飲んで降うたこと る、飲む程に呼る程に益々強い も満人間に大なる魔骸を興へ りはあるまい コークから桑港に 戦都したが順段 デナダから 戦着する筈である、一行ナダから戦者する筈である、一行ナダから戦者する筈である、一行は、無関で人間に立つのを極度に避っています。 中の獣魔長チャールス・セリグマ 一切外部を接觸です桑港でも出

菱刈軍令司官

必ず判

任官机

るな

※他人のモデルにでもしたら で数が彷彿さして聴動し、久 の数が彷彿さして聴動し、久 米鵬長は天界の人でないだけ 語る語なった、セリグマン氏は

夫氏は着低版に 中蔵絵、 愈々 が下界に臨んだやうな久米成

天省公署總務廳長に……仙人

ないさある。(奉天) 女の白きはぎにはピクミも

部に接続電を發した 郎に接続電を登した だま一行は十三日郵船龍田丸で桑 と 新京闘東軍よりの採電に終して午八田滿鑑融機裁は十三日午後突如 八田籲副總裁

午ヤマトホテルの軍、大使館主催 見後日本側骶係各方配を懸誘、正十三日午前十時半満洲國皇帝に認

の午餐會に出席、午後三時大橋外

ホテルに於

英訪滿實業團

きのム桑港發

新任ブラジル大使

である威式な氏の信任も厚いので民球部大型であり、徴長

が三度の食事より

さころあつた。

京に赴いた ける繁縹理の揺宴に臨んだ席し、午後六時ヤマトホテ 騰し、午後六時ヤマトホテンで部次長のテイーパーテイト 土肥原少將熱河へ

午前十時醫療河に向ふが十八日歸る蒙古王族會議列席の爲に十四日 奉の豫定である では、 ・ 大大七の所日熱河に於て開催され ・ 大七の所日熱河に於て開催され

に學び先づ判任官になられよ。必ず成功や入學の絕好機! 諸君は即刻本講義

学人學者は悉初志貫徹

參議招待會

十時三十分大連港外着鎌定、カめりか丸・十四日午前

學せらる

で本學は其の威力を

進出への一路に

先づい今直

元本を請求あれ!!

特典提供

容見本中には 本講義の内

獨學判任文官試験突破

佐藤齋藤大使 新京に於ける

は、さにて過率したが軽照には三老司と十三日は、 さにて過率したが軽照し、 これは三老司となが軽照には三老司とないが軽照には三老司とないが軽照には三老司とない。 秘書官今職献官を帯同し十三日は秘書官今職献官を帯同し十三日は

【新京電話】佐藤、齋藤兩大使は 教授指導

獨學顯の機は今

人學者は先づ判任官から 新しい教授法と、頗る安い學費で而も小功の道は、先づ判任官になる事である。例學者諸君!!諸君にとつて最も早い成 學卒業程度の學力にて、仕事の傍ら早き は三四ケ月、遅くも一年の獨學でキッ ト普通文官・裁判所書記・警部・警部補・看守・福州國官吏・満州國道官吏・満州國道官吏・満州國道官吏・満州國道官吏・満州國

朗

家さの紹合な促進し、恰も憲法養 家な治な解説せしめて忽ち官僚で資本 の総合な保護しので忽ち官僚で資本 本以前の薬園内閣時代の如き政治 「監督財政ご金融政策並に融工行 に監督財政ご金融政策並に融工行 に監督財政ご金融政策並に融工行 に監督財政ご金融政策並に融工行 を関する。

日本資本主義の総所ご教書さな改 がむべく、その陣盤に対演する一覧 をのである。 然るに黨人を排斥したり、利権 が資本主義機構に對してはたり、利権 が対することにはカナリ尖戟だつたけれども にはカナリ尖戟だつたけれども が近れず、その陣盤に関連すること にはカナリ尖戟だつたけれども が近れて、その陣盤に関連すること にはカナリ尖戟だったけれども

さうな疑惑事件さなつて完全に場 脚を現し、撃國一致内閣なるもの 下

、要するに続ては活眼の射的動態に拍車をかけ 事とするやうなことで見解を以て自己の機能

三土氏收容

まないは全然準度が出来ないが司法 あかは全然準度が出来ないが司法 する繁行あり、三土氏が収容され でもこの能念を買くこさになるさ でもこの能念を買くこさになるされ でもこの能念を買くこさになるされ である。

東京市下谷區上野櫻木町三

大連市

の祝意

第二回軍旗親授式

日宮廷府に於て

各戸各車に國族(可成兩國族) 本規揚すること が規揚すること

日海極國族間深國總省縣の濱洲に へて總計二十八名 対ける日程(左の如くである 十月五日午後二時午分へルビン着 数、同午後二時十分へルビン着 サー日滞在、十日午前八時半瀬京 大日滞在、十日午前八時半瀬京 十一日滞在、十日午前八時半瀬京 十一日滞在、十日午前八時半瀬京 十一日滞在、十日午前八時半瀬京 十一日滞在、十日午前八時半瀬京 十一日滞在、十日午前九時半

鐵鋼冶金講演會

十月七日大連を皮切りに 以後各地にて開

高 二軍 出來不申 出來不申

秋の香茶

フドス (崩旋三)通川大 七〇一九二更

到着

生徒募集

前九時より満倶グラウンドに、満洲事變犠牲者慰鰀祭を午、繊洲事變犠牲者慰鰀祭を午

純化であって、

H

それが直に全般の系統を變

種の不便さ、煩雑さ、重複さが断立の爲めに實際行政の上に諸 かくの如きは機構改革の法理

に禁惑を承認する事に經黙反點し を以てソ職政府の職監加入に特徴 を以てソ職政府の職工の職工の職工の を以てソ職政府の職工の職工の を以てソ職政府の職工の を以てソ職政府の職工の を以てソ職政府の職工の を以てソ職政府の職工の を以てソ職政府の職工の を以てソ職政府の職工の を以てソ職政府の職工の を以てソ職政府の を以てソ権政府の を以てソ権政府の を以てソ権政府の を以てソ権政府の を以てソ権政府の を以てソ権政府の をいて、 をいて をいて、 をいて ホテルの寝室で何が出來る」

通常慣行を無視し次至一般原則を

满 るに至つた譯だが、それは併し るや否や疑問であ

デ・ヴアレラ愛蘭首相 ソ聯加盟案をコキ卸す

總裁は關東廳內務局長

る事項等であるがなほ役員さしな事項等であるがなほ役員さしない。 大の他家庭との連絡協調(六)其の他家庭との連絡協調(六)基校と修養に關する施設(五)墨校と修養に関する施設(五)墨校と

に る敵力であるから近く同じ て決定を見、年内には戦がしてあるから近く同

目下の所校長間の異つた意見も

訪日滿米記者團

滿洲視察日程

月五日奉

大連保導聯盟成案

小國反對氣勢熾烈 內認可

衆全般の休眠に闘する政治機構 にも基深な浸潤力を有する。大い。近時の社會的風潮は官僚間 飲た下げた 飲た下げた 飲た下げた

羅津都市計畫 十五日發表

(版內市) (二)

社會的看點

計會運動にまで闘勢せんさする 情勢にある。互びに他の懐限な 事び合ふこさに依つて、甲乙兩 系統内の生活問題な擁護せんさ して居るやうに見える。併むそ

機關問題の

國策を主體さして考察するさき

ひ、拓務省案さい

社

說

妙諦な輕視しては駄目だ。陸軍

治論へ、政治論から権限事事の されば機構問題は法理論から政 では、政治論から権限事事の

車問題は、陸軍、外務、拓務諸

諸案のうち軍部案が主さして採

れ、拓務省案の如きは幾ん

俄然立消えか

ソ聯側本國政府の回訓待ち

鋼管會社設立

の聯盟加入

◆年報日本総際沿場にて電車の乗 はなする者だが、最近終に不快 はなする者だが、最近終に不快 はなるのは常に五、六盛 の人力車が、電車が停車するさ

に機構を楽蔵なく突き出してるが、質に迷惑主極だ、除車口れは日本橋だけのやうに見受け て降りるにも足の踏み場に迷ふに惺棒を遠慮なく突き出してゐ ◆車内吊皮の文句

豆低落

東京 引寄値 (引寄値

邪魔な人力車 歌 杏 挽 内以行十五 用採不傷中!

◆滿電は戦らく他に 局は類らく他に 形定して早速楽 からなか。 おいって順 ば便利かも知れ

シュアワーの依然を入力車ではなる。その で来て来る際ないに 中に登車してし 中に登車してし 大きな車に ◆車掌に時々客席の整理をやらせの人あり。 め置く事、滿人にも聞分無遠感

◆連鞭手や車掌に時々現金又ハサ る客多数を見受く、彼等は正 佐滿人運2

電鐵へ

常限 先 四 一八八

酒

引際小戻し

後場市況計画

市場電報

井

式保

溫

建築

依る「ブロッ 酒井式は斯界の

敷棟新築中 脚り目下局宅 鐵路總局より

」構造にして殊に滿洲の如き寒き風土に適す 泰斗 米國建築工學士酒井祐之助氏の發明に

出張所 新京東一條通三四號地率天春日町六番地入江アバート一號館電話呼三三六〇

秋の大特質長藤川瀬山本秋の大特質長藤川瀬山本村の大特質長藤川瀬山本村の宮

券 第六〇五三號倉留 車立人 厲 憲 車立人 厲 憲

章

田小兒科醫院

● 第138) ・ 等計物及信遣記版 經人紋 ・ 等計物及信遣記版 經人紋 ・ 等計物及信遣記版 經人紋 ・ 報面 金三百六十圓也 ・ 、 報面 金三百六十圓也 ・ 大連市 ・ 世紀 ・ 日本 138) ・ 日本 138 ・ 日本 138

生ちれ大連自動車運転が全地大連自動車運転が開車を決定を 大連自動車運轉手養成所

大阪編条 大阪編条 大阪編条 大阪編条 大阪編条

特 二月 一月

屋問旗

中央国加尼

大連 電八四三七番

日本

十月一節(單位十段)

何千枚デモ揃了店

聽地方法院

和服裁縫三實習生徒募集《星期生》管理、源學生》他已熟練者 新屋和服裁縫店

各地名産 珍

荷

四.00位

西広場中央舘二階

the Tasto

海道名產 高級鮭

燻製

世界各國酒類: 主五 五・五五 -- 0五 食料品

Joy of

鐵花、

英英英東東京文タイプライター

省授科科科科 大連丙族場映經館様(創立大正十二年)
大連丙族場映經館様(創立大正十二年)

の町速浪

依り乍勝手臨時休業させて頂きます 日に付乍勝手休業仕候 り増築工事の都合に

本日は午後六時よ

征服

動

店賣販るな重地各 (同不位順) 文

玉澤。運動 用品

行

ル發賣元 店(齊 店(新 店(撫 店(四 (中哈爾) 京京街順天天

全滿ラツキーボー

世には今次の紛糾狀態を見て 意見が兩者の間に存在す

跡がある。

に統括しやうごすれば、理論的諸政策も、强ひて之を一元

教經學兵第三廳及び繁五廳、教經 【東京十三日發國通】來る七兵第三十九廳乃至同第四十二廳、 三日 八七二 加上 石

記念祝賀會

以て市内各機械、「原公師、会践それることに決定、九月十二日附をへることに決定、九月十二日附をへることに決定、九月十二日附を

一分間運動を停止し默結する ・一分間運動を停止し默結する ・一分間運動を停止し默結する

なほ一行は夫人、今息、金銭を加てほ一行は夫人、今息、金銭を加って日本に向ふで日本に向ふでは、のは、

電路和整線所 行委員が駆げら

た、十月七日よ

準備に位置されて居るが、かく各原、塞天、朝鮮等よりも同様委員がいる員がいいて居るが、かく各原がいいて居るが、かく各種がいいて居るが、かく各種の地では本溪湖、無顧炭礦、新

◇定

明十五日

期近 111次0 111 造 111 型 111 型

職会講演会ない。 は今回端洲に於 は今回端洲に於

三氏が融る質技、

钕

合

合 閑 散

▲九月十五日 満洲國序認二周年の他の整應整へ通牒を登らたの他の整應整へ通牒を登らた

で何等相異なる所はな

大連市民から慰問金

警

問

記

掃匪に士氣振ふわれらの勇士

に奪へられたいる附置するこころ を整く、土無経く(臓が置大連市民) やう取討らみを答へ更に急軍に引ふ やう取討らみを答へ更に急軍に引ふ を変々、土無経々臓が置大連市民

地交には今日なら、 がた窓がついが変観った海 あのな勝め、海洋の るのを勝め、海洋の るのを勝め、海洋の もの大平原な軸端した が変観った毎 を記がついが変報った海 を記がついかがまれ

綿糸弱保合 麻袋保合 投げご新規買で相當手合せな糸、大阪三品物保合な入れ當

服

京玉澤大連支店

大連市連鎖街

第六聯隊記念碑「華天」

號 二

本漢湖の特別で演習に関し防空風

特は整條副官を随へ十二日午前八将は整條副官を随へ十二日午前八

三毛司令官

率がて盛大な素釈記念

確保を強調さ

演習迫る 本溪湖防空 占

學生青訓生聯合

壯烈な記念演習

大刀會匪襲來記念日

錦州市民をあげ

四日に亘る大行事

承認と事變兩記念日

都空を護る

一氣風涵養

殿會設立諸準備を急いて 金三氏等が養起さなり全 起さなり事

、役員等準備萬端整つた欧報の通りであるがとが

伝堂製鋼社長、関挙天市 に登製鋼社長、関挙天市 に登製鋼社長、関挙天市 に登製鋼社長、関挙天市 に登製鋼社長、関挙天市 に登製鋼社長、関挙天市 に登製鋼社長、関挙天市

長、大日本相撲協會より夫々立つてゐる

本大日

都市對抗大會

は一千圓で半年間から 妹一千圓で半年間かいらなければ 殊に満郷總裁の十五貨館製像勝盃

鐵端子傳隊附陸軍歩兵中尉藤井靜 時間 はいて 世然 なる 三日 法婆察境 北成子 に 機 総 まる 三日 法婆察境 北成子 に

職し懦夫なして起たしむる底のも
動し懦夫なして起たしむる底のも

が中島自

鍛礦小學校講堂において執行さし◆…即ち八月以來法庫縣下第八區しつて自ら射撃の告別式は十四日午後一時半よしのがある

甘珠爾廟會始まる

【チチハル】八日の朝来降り初めた秋間は整然さして十一日に至るた秋間は整然さして十一日に至るまで丸四日間降りつくけ蒙古路のの戦が延に解落し、密衣から着への競が延に海流しの感を加震に解落し、密衣から着への意テムボな変し、密衣から着への意テムボな変しの感を知覚にからればかせてゐる、黄紫紫が秋雨のの。

人防空演習を實施

七の兩日

金州の祝賀會

日本語である。 日本語である。 日本語では、 日本

が遅れ、ば落葉焼く煙に北溝晩秋。瀧ごとに落ちつ、あるからこの雨 運動會開催 路局對抗の

田一活躍が減でられる事になつた に提端する党職の党職をのまっの大車にて輸出並に忠魂神に参拝の を選述に治党隊の党職をのまっの大車にて輸出並に忠魂神に参拝の を表り境大党舗を施行しその間輸送、整 変主に治党隊の党職をのまっの大車にて輸出並に忠魂神に参拝の を表し、といる党地で、當日は陸に空で、一間は挨拶、それよりの を教を機關代表の出述へを受け でこの外十六日には海順会市に立一移所長、欠留島在緘軍人分会は 変主に一間は接近、森地士 で、の外十六日には海順会市に立一移所長、欠留島在緘軍人分会は 変主に一間は挨拶、それよりの を数を機關代表の出述へを受け で、ないよりの で、森地士 で、森地士

郷価を進めて居る に遭つて延期された 鐵路部線の不感の災難 の各

チチハ

の論、全日本なあげて種々の 變三周年行事

間

定通り開始

鐵塔工事順調に進捗

認識せしめ、當日は各戸に日ビラな配付して事變の真意義 遺般来願係各機關係各機關

營口の催し

渡邊房古著四种▼線欄二部

殿本部隊競戦室で居留成大会を開発を開発した。

| 病兵な訪問に日浦学生代表者からの英麗な慰め解唆病院収容中の傷

より脱粛なる帰職祭を執行

に接触するに付て左の式順序を以 用十五日は我國承認二周年記念日 開中記念日

を という は こことになって ある、な ほこの 期間 に 全市 民三十 本間の 駅橋 を 行ふ て ここに なって ある、な ほこの 期間 で ない は この 期間 で ない は この 期間 で ない は この 期間 で は いい は に いい は

野野県の 野野県の 野野県の 野野県の 野野県で 野野県で 野野県で 野野県で 野野県で 野野県で 野野で 大棚か合 大棚か合 大棚か合

の差男養女に埋まり、一方歳市に乗込んだ各國際人の群を交へて大混雑を呈してされたが、同時に甘珠爾願の秋の法會も開かれ、六町四方の大伽藍は一千數百名されたが、同時に甘珠爾願の秋の法會も開かれ、六町四方の大伽藍は一千數百名 11. 別市見物をかれた一般利用者の便をはかつてゐる

「理をり、一方能市に察込んだ各國際人の群を突へて大混雑を至してゐる、なほ本人も日家貿易の先驅さして多數察込む関係上、國際運輸ハイラル出張所では特に が入る日家貿易の先驅さして多數察込む関係上、國際運輸ハイラル出張所では特に があり、期市見物をかれた一般利用者の便をはかつてゐる 大街には牌樓を建て飛行機は絶 省公署、領事館前には慶祝門、 合國商人 ルの事 八群で大混 1/2 抓順 被

(代表級鮮、大満洲帝國代表級鮮、大満洲帝國代表級鮮、大満洲帝國代表級鮮、大満洲帝國代表級鮮、大満洲帝國展、各學校生徒は縣公及以で市內な終行す、 体別場に於て講演會及標別場に於て清演會及

反對陳情書提出 安東商議遂に起つ

松橋岡村鶴地井塚井戸徳 15716342899 川野崎 257163428899

德

48972313566

より秒出する總統銀にのみ適用する事となった。 を東に限る一地方的のものであり着と安東駅の を東に限る一地方的のものであり着と安東駅の を東に限る一地方的のものであり着と安東駅の みに不正手段が行づると安東駅の みに不正手段が行づると安東駅の を東に限る一地方的のものである。 を東に限る一地方的のものである。 を東に限る一地方的のものである。 を東に限る一地方的のものである。 を東に限る一地方的のものである。 を東に限る一地方的のものである。 を東に限る一地方のものである。 を東に限る一地方のものである。 を東に限る一地方のものである。

すれば兎も角圏門或は関東州境 その他においても不正手段によ る輸入は過去に於いては不正手段によ を原と斯業發展に一大打撃を來 すものである、叉其の取締令施 常に繁電な手数を要し延いては 際下附に際し實際問題さして非 際に繁雑な手数を要し延いては ので該法令實施については從 つて全國一齊に實施さるべきで ある

在滿機構問題で

關東廳職員大會

瓦房店大石橋の決議

本位。住宅設計圖

松平英明·本間五郎共著學是廣三四八十錢

故主力の蟠居せるも なる散兵壕を築き 山 ◆・・ 念報により照井隊長は軍勢な ・ 告したる後全く危験に関った。 ・ 監長に黙して雷時の脚波を耕紙報 ・ 告したる後全く危験に関った。 ・ 保したさころ中尉は ・ としたさころ中尉は ・ としたさころ中尉は ・ としたさころ中尉は ・ としたさころ中尉は ・ としたさころ中尉は ・ としたさとの。 ・ に関った。 ・ に関った 密輸取締令

君國につくさん

藤井中尉壯烈な戦死

| 地つて土壌を激散である出血基だとく再び起つ能はず、部下は中場に中、部下は中場 タリ打酸れたるも再び起ち陳刀な無鬼酸の中尉も急所の編手にバッ

理統制を負はせ楽 関連飛来中尉の腹 ◇・・・因に前 でする。 である) にて軍人を志し士官學校受験の を対象、海海線方面に出動赫々た を武功な樹で、今春銀鎖守備隊に を武功な樹で、今春銀鎖守備隊に を武功な樹で、今春銀鎖守備隊に を武功な樹で、今春銀鎖守備隊に を武功な樹で、今春銀鎖守備隊に を武功な樹で、今春銀鎖守備隊に を武功な樹で、今春銀鎖守備隊に を記事であらう(寫真は出動直 の記念寫真にして最後のもの である) を志し士官學校受験の発出の出身にして効に

悲しき凱旋

會社から弔慰金贈與 の溺死者

膏祀らん大神靈 大安丸 七十八體を發見

安職校認の修訓作冊に成るものでである、右鍼座祭の歌は次の如く 今日の祭りの賑ひを いざ諸共に祝ふなり に、國の榮の御社さ 代々木の森の神剣艦 かで記らん今日の日を

義 雄

赴速、潜験を出って。 【奉天】諸軍実問題をひつさげて 學校の學級增加 入體な 石崎奉天公費係主任談 八九學級程度

年野球戦

旅順に興味ある催し

内對抗で

支那現代著名

『奉天』 奉天西塔大街林架鉱行で

| 教急法の渡邊か渡邊の救急法の渡邊か渡邊の救急法

策を協議

風地内の満人俳優に対 問題も目下關果朧で満 において折衡中である

大 盛況を沸き立たせてゐる 一 された猛無質は媚が上にも當日の 一 された猛無質は媚が上にも當日の 一 では、町内のカコブは物遊い

怪匪賊捕はる

機工で二十三日に落成式を暴行。 二十六萬圓の鎌鷺で新築中の流

話替市

本書は著者四十餘年の診療を基礎とし「家庭看が「家庭衛生」「家庭を表別に載く。 渡邊

房書を醫の繰言

中込四五九四五九四元 東京二八六七五 P淀城區戶級町一ノ一〇七 ▼四六判四六〇頁 ▼定價 二円 ▼途科四十二錢 四五九 學

なると確に様で年齢の脳いほどをしての焼臭に一番多く、十銭使にも

が 小児結核の誘脚さなることが膨々 ですから、世の親たちももつごも がしまることが膨々

座屋性の咳が出るやうに

製物注射 (三回位) たみ

口に入つたり、或は玩具や本など

感染の徑路は意見のツ

夏から流行

つてゐた百

一 や が 作風に通はせては他家の子供に迷惑をかけるやうになるのです。 しかと無熱ださて除病を登しなかったさて、この病縁はひざく無管しなかけるやうになるのです。

は、についたのが間接に日へ入って要してすが、このカタル脚が過ぎることですが、このカタル脚が過ぎることですが、このカタル脚が過ぎることですが、このカタル脚が過ぎることでが、このカタル脚が過ぎることである。

まで丈夫だつた鑑賞が、この病薬 いよって一壁して脱病質になる例 から治験技

供さ遊げせないこと、若し家族中世んの職院法さしては咳をする子

一八八九年に翁の弟子の一

書かれてゐる

上も命なうばはれる程です。又今上も命なうばはれる程です。又今

アンタゴニンさいふ百日咳用の吸

浴も無熱なら差支ありま人させるこ大選よいやす

八九年に渡つて

ルストイ繋が一八八八年から

外(海岸より林間がよい)

のは百日咳

です。熱が無ければ日中は空氣のた少量づつ度々奥へることが形骸を少量づつ度々奥へることが形骸

された、本の表紙にはトルス或る町の間苦館から底近数見

イの秘書イワノフの筆で、

幼稚園見や小學校下級生間に

に紫裳が寝へ、文院廳や中国紫をが見らよく嘔吐を起し、このため、ごい為に赤ん坊はよく乳を吐き、

く肺炎を併發するのです

充分に踊らせること、

隨想錄」評註

家庭の處置さ

ヨンな起してゐる。

トルスト

んで直ぐ咳のために吐

「魑魅家」がクリミヤ牛島の一部経験上がクリミヤ牛島の

親御さんの

ラ

ラ

唉

<

園

日

人的原因がある通り精神の虚弱見

れよりひざいもの、劣等生さは似いまりを変生の少しましなもの、痴愚はそのかしましなもの、痴愚はそに分類して居ります。魯戦は些語

親さなつて子ほご人生に光明を思いず子ほご失いで、又不出来なりが子ほご失いで、又不出来なりが子ほご失いででも、親を抱かせるものは無い。而も、親の煩悩は俗に「寒鹿な子程可安」、 低能見の上にそとがれる 痩せたい許りに 減食したり絶食したりしませんか もしあったら考へて

ない、性能の中から彼等の興い機能よく、しかも必要な範にふさばらい 改善の智能にふさばらい歌書、 の特殊教育

十月九年九和昭

方針次第で立派に一人前になる

第一に叱るな、罵るな

年日にイの字を敬へる――マイナさな次の一年間で敬へ、やつさ三

くラオリーこしての、また主張さ しての印象級街上の現象は、マネ・モネの 年代の印象級街上の現象は、マネ・モネの

はアレデョア 勘 門の大家さなつ 次、女性描寫の

0

ル作

九八

匹

マールは印象主義化せるロココアールは印象主義化せるロココアールは印象主義化せるロココアールは印象主義化せるロココアーとは健康な朱色のマダムの関制姿で、赤さ青の縞模様、又この二色を混ぜて黒か作つてある手際は、裁縫師を父に持ち、な反映さしてある。

たる彼等なプラスに仕立て、る

育法を施して――たこへば教室にすらし大島に於ける藤倉委鼠の如すらも大島に於ける藤倉委鼠の如ちしたの若へ及ばざる特殊の教 を調べれば除去され得ざる所の疾患者で、これを普通見さ同一に教をしようこするのは態る間違つてで、そこに益々彼等を強め 就へ、各自の机の前に膨かけるこれるさいふこさな一年間かいりで いためる観覧が待ちもうけられて 関議に育てる事は自尊心を がみ、れたみ、憤ほりを以つて走 等が数はれの群に、総しさや、ひない事で、この爲如何に多くの彼 彼等を叱つたり思ったり 低能見を育てゆ

ムりも

實験のある事であります。 根氣で敷はれの彼等が立 前になるのは既に多くの

とではあまりに對象に即し且つしてはあまっ實に彼は印象派の人とである。實に彼は印象派の人とである。要に彼は印象派の人をである。要である。 女性の肉體の讃美者であらうと

の生學女

罷りなら 新生活運動だの、孔子 ◆但心南京のお話し 20

代の支那で一番属つて居るのはモ ふのです

辭世

の歌に就

西

田

南が多いのは皆然で

ものに、歌や

年素しこ

れ等を作らない

なければならわさあります。モガそれだけではなく、衣服も閲覧で モガ か手部に届いた。見るさいろく、書いた来に、和歌と俳句が一つ宛歌 場合、必ず何か響い ふここを考へる

これを作

も決して不思議

和歌や句は、我々日本人が遠された。 一覧でも百人一首の歌で無くこもであるに最も遊覧によの情報を表が離てる形式として かんはあるまい。然らば人が死に、というは、一直を出てしても「古池や」さか「大龍のにしても「古池や」さか「大龍や二十首の歌ば知つて居る。 平素競り慣熟して居る被武に使つ自ら口を突いて出て来るものは、 れは人情の自然である。この時 い さうして其れが さうして其れが 歌や句を作り 想さなつて現れるの

料さかで普通になります曲です

《問》 生後九ヶ月の女見で

斜視は手術で

治りませう

當になほりませうか?又今直ぐ 術出來ませうか(大連一讀者)

簡單に治る

ゴールキーの て、安心したし

に興趣の深いものであらうと思 落のめしたもの 出来るものであ 、諦観したもの

痛に耐へる位の年齢(十四五歳) 発視は割合に職職になほ

作品は没收

從つて多少變化す

なるべく早く

行く一應聴

はプロシア全上に亘つて有名

程に無趣の深い

-ルキーの修品一切を押収・ウェート文楽マキシム・

いが、最近ブ

がまつた事ではな

一覧 してからするのが 普

熱は今に始まった

新刊品

事に許されない。

へ上) 一昨年フランステ ション・ 繪でな

驚異の大賣行!

全國書店にあり

標大日本遊辯會

講談社(縣族)

対象などの長行

本家 棚屋合公合社

非常時突破e大出版 是で國を救ひ 人を救ふ 男も女も日本人は残ら 名士名流擧つて推奬、

とて急廻轉と初めた えん感"世界は彼を中軸と

ないであた北西海湾を掘げて起ち上り、火火がのないとットラーが、大統領になったのだ。風を認んで待つてある場所であた北西海湾を掘げて起ち上り、火火がの存在として世界を恐れし場が、有湯、大流のドン底から、疲弊、不安、幾級にない。

もなく、簡単に代表的に抜いて見たの中から総り選りがみしてる選がのである。 関リもなく野日 これ 大魔姫教育人、女人蠍人乃至江美人魔姫教育人、女人蠍人乃至江美人魔姫教育 たのつかろ 滿洲女流美術會

第一回展覽會

質、素質を持ていつでも

三日間大連三越ホールに 新雲な登表すべく努力の お雲な 登表すべく努力の 野報の如く満洲女流美術

驚くべき大冒險

のも離台い現象 繋外の館作、奇 がな切別語った

Ç.

11つ、ある。津田澤子氏の大作のの作、總数七十店日東) ート展開催の運びこなつた、集る 大多数油輸の出品中、清楚な日本 満の変も散見し、満洲唯一の女流 画の変も散見し、満洲唯一の女流 地つゝある。津田澤子氏の 大作 しつゝある。津田澤子氏の 大作

●別船越光之丞閣下日く 起る

間れる英雄心を燃え立たせよりを書はそれを原中にある泉の非常時だ。即刻を書も一護、六皇の太危機を忍へ、日本は今四隣迫害の暴不望の太危機を忍へ、日本は今四隣迫害の暴不の非常時には誰が生れるか? 一九三五、 第一使命として 三ケ年の刻苦 漸く完成された大

無代進品 效量 作 御別し 一 円



そして病感を無野と個人主義と物質主義と学楽主義から秋へ! それが火質民会自の教はる、迷なのだ!……

●女は家庭に歸れ!

目置る同胞

も手にとる如し!能してこに誇りり、態度 の機器に懸治した彼が、公敵としてあらん服りの憎悪 の機器に懸治した彼が、公敵としてあらん服りの憎悪 を投げつけた着太禍の眞相に到っては、残虐 を投げっけた着太禍の眞相に到っては、残虐 をという。

見よ新世界の彗星

ヒツトラー

の大面目

ナチスの正體、

獨逸及び世界の情勢



ピットラーは大統領にな

どこまでも

一途に健康へ

伸びょ 病を極邁して 藥効に小兒諸 奇しくも尊き

苦難突破の道開け

英雄心は爆發する一

●あ」 その大信念!

伸のび

の借

EXTHUS

CHMSRGO+402NE

が開かれて以来発ご歐洲不出さいのた有様であつたが今時の食器は加川大十四ケ國赤十字出五十八社

不敵。奉天市內

字記念切手

事他の結果を重大視しや速調査したこころ、右対書がまだ鏡州野門・戦られ、内容益見の上神塞された奇磁な事性が起つた、線中引き破られ、内容益見の上神塞された奇磁な事性が起つた、線中引き破られ、内容益見の上神塞された奇磁な事性が起つた、線中引き破られ、内容益見の上神塞された奇磁な事性が起つた、線中引き破られ、内容益見の上神塞された奇磁な事性が起つた、線中引き破られ、内容益見の上神塞された奇磁な事性が起つた、線中引き破られ、内容益見の上神塞された奇磁事能響。終點が上日午

のて或は平津地方における欧南流日際の爆動を受けた彼等がその側を縦に引要き且つ上部を機にちぎ可書娘盗見の形跡は明らかな保書記載子識の耐名を召喚殿重取調べを開始した、なほ封書は振深静の起ひした驚時その場に居合せたさいふ局長陳夢厭及水黄送。政局にあるうち破損された事態を確めたので、十三日早朝から子

間諜さなつて斯かる所属に出たものではないかで想像されてゐる

第十五回國際會議を機に

遞信局も賣捌く

を任意出頭の形式で拘引て同署司法係河野刑事は近

なセンセーションを軽へ軽電気に に引縦き第○壓御用廠人容越與三 に引縦き第○壓御用廠人容越與三 は

| 軍の威能を置渡せるものなりさし

一千五百圓を突破してゐるが、村 ・施盛れ日々無々感輸版を、潔願交 に離れ日々無々感輸版を、潔願交 に離れ日々無々感輸版を、潔願交

上氏の射熱無比の義素に感激、要 がした市内山喰町脈東郷音等療検。 がした市内山喰町脈東郷音等療検。 が上久米太郎様、御見郷グと上書。 が上久米太郎様、御見郷グと上書。

(日曜金)

は川田支配人の自供による如

をの犯職を除ましてあるので僅か 大阪に今回の密輸事性は飛行機を巧った の犯職を除ましてあるので僅か

防上の機密書類

郵政局内で盗見

神戸和關史の手で任意 連署司法係の取調べた受け目

てゐたかを物語つてをり

名を秘め

て見舞

盲啞學生

を社本 てじ通

赤心こもる感謝状に添へ

病床の村上氏に

邦人虐殺事件で

我守備隊現地に出動

電三階学行代表者近藤三彌氏(Web)

賓石密輸を飛行してゐる商店で 関の眼を採め今日までに莫大な 密輸團一方の大頭株で久む~稅

内地に現出した寳石の怪相場

へ連に探偵眼集中

美談の警官

自動車に刎らる

來る

志願者受付 獎學費支給

有力者を騙す

なされまずやう産作らお呼り申はあなた機が一日も早く御全快後の御客體は如何ですか、私達

お見舞び申上げます、敬具が別ますが御送金して

大連豫選會

俄然

壓倒的

賣行

9-2

組合せきまる

關係の

上水連大し加増りきつめが人出家の

選挙女人能の次出人がめつきり増加し、 大連水下警察署の係属を備えして ある、十二日同署で保護を加へた のによった。 方ち七名は釋於され「委は滿洲お吉になりますわよ」ご物婆い意練 名だけは郷里より父が引き取りに 来るここに電報があつたので、さ ちに保護を加へてゐる また過日滿鮮無銭武道旅行を企 また過日滿好をかったので、さ

飛行機で密輸 類を巧みに **常感の寒滅に徹底能メスを搬ふ方** を来す重大犯行さみなし贄。確密 を来す重大犯行さみなし贄。確密 針である

こ見られて

ある

は内地の生活不安から の哀苦。 上署では家出人防止家につき参究ではまトーへ繋りきつて目下水のにはまトーへ繋りきつて目下水のにはまトーの繋りをつて目下水のにはまらにグツを増加

中等聚榜、高等聚性療授、大學を養安を結者數は大體昨年度なみで、高等聚婚した、今年度の製造をなすべく志願がした、今年度の製造を表した。

「大阪特電十二日整】大連市紀伊 なる修験の名刺な協範は事製村一史 / なる修験の名刺な協題して最近在 阪滿洲瓢僚の有力者な訪問、金銭 を強要する者が出渡、滿洲職紡角

破損レコードの寄贈に

憤激する憲兵隊

込み総切りの結果組合せ左の如く

和洋

洋莨

にんにく

葷

許

漬

大瓶

六十五錢

• 一六一五壺

洋酒

百貨

連鎖街二星洋行

かさ……動れるも道理こそで、 誰もが一度(1食べて見標を)と辛が無いものさずれのまなく。そのですれのまなくのですればない。

食料

廢物慰問

十五日より中央公園海戦テニスロ 中五日より中央公園海戦テニスロ

◇競技種目 ◇参加資格

大連市內在住者大連運動場で

不明である

十月七日午

一前九時

面を懸訪して協會加入を勧誘して

(十名)幼兒競走 ▼中學生(1)男子百米、四百米、 忠靈塔参拜競走,千米瑞典式網走 子百米、四百米繼走 子「中學兒童 六十米、百米、二百米 ▼小學兒童 六十米、百米、二百米

込みのこさ、 題目以内です きに競技種

一米、四百米

社報日洲滿 接後

市民代表際艦に一使するものである、滿洲國側に對する見郷金三萬個は滿洲國側に對する見郷金三萬 救恤にあてるものであるが費途は 近郊の附属地をも包含しそれよく に黙する見郷金入萬圓は安東以外 を贈るここを決定した、安東市民滿洲國側市民に野し同じく三萬圓 展地なも包含しそれより 記畫中で本年中に 完成する祭で 御駅水震の完備を励るため施設を 御駅水震の完備を励るため施設を

直接被害な蒙つた大小工場、は六道溝水源池の低地におけ

表彰慰安す

ロータリー・クラブ

金二十圓 大連大黑町福島 医、機械係、保險係一同係、機械係、保險係一同係、機械係、保險係一同

一大学原本 ミナト大連注が職当事務所の江崎所長の諸氏が を選挙を所の江崎所長の諸氏が の合せて自動車運転の標古を が良、同職総製長 の諸氏が

蒿

一家では、 家族の 家族の 家族の のでは でいたした。 でいては でいたした。 でいては でいたした。 でいた。 でいたる。 でいた。 でいた。

は一般人村上久米太郎氏の英雄は一般人村上久米太郎氏の英雄

計時腕用人婦御

萬全を期して居ます 是非一度御來場を・・

連市西町

電話〇四三一番

六名の國際ルンペンが保護されてこのほか現在水上署の留置場には ったので近く送還されるこさにの十三日郷里より送金通知があるは無料宿泊所に收容中のさこ

所役市連大催主

更に十

萬圓

四座候就では來る十六日左方大連購着の旨通知に接了工學校長各位の新京に於け

左記の通り釈迎會相僱度候間何卒御出席被下度此段し候而已ならず當地先輩知友さ一夕の懇談を交へ度ける臨時總會に出席ん兼江鮮満支視祭の途來る九月

歡迎會場

店

急

告

出熊鎮人字天濟 席本西吉士草 申中中中中中 込學學學學學 楊校校校校校 所長長長長長

田島庭谷崎

藏眼三示定太

九月十六日午後六時 會 費 金参園

勢町青柳(電話六七ニ七)

連

福五木古石佐部世

見舞金を贈る

特に滿洲國側市民にも

安東水禍と滿鐵

牧恤の 應急處置を講する

大連縣前にある工製は物館では工

店理代認洲清

四五通縣山市連大

商祭

共

甘井子埠頭見學會

ふここになり、第一帳は批升子準 地見撃する 地別、大人一名につき整理費ご して金十銭を申受く、申込みは 山城町工業博物館に電話(八七 山城町工業博物館に電話(八七 で全十銭を申受く、申込みは

登した上では夫々個別的に

产 (2)女

た機様が看取された場合には本社 情を待つてゐるが熊狀報告を得た 告を待つてゐるが熊狀報告を得た 告を待つてゐるが熊狀報告を得た ンチ事件 報告待つ滿鐵

新京商業の

◆申込方法一般に往復にが 氏名明記のこと)等記載して申 競技を除き一人三種

書 謝城は左の如きもので一心不能に さず鯛然と屋外に変を消してが感なるがに変を消してが感なるがに変を消してが感 義人村上氏を

ータリー・クラブ大連支部で 事業の根底に培ひ、すべての 職職の上に高尚なる道徳標準 を勝定すべく努力してゐるロ なでは、すべての

金二十圓 金二十圓 三井物産會社大連 大連跳擊塔側詠歌會 無名者 無名者 無名者 東都洋畵綜合展覽

御一同感心にも運転手書を先生 に深ダク~~の猛熱性に熱中したが離で先づ蒸伍したのが地で先づ蒸伍したのが九里 では「何めに機勝率さ同じ要領 さ」さ異感場のに売く薬田此称 を引かり出して天暗れ名運転 を引かり出して天暗れ名運転

一さ標古濟人だ後で把手な連転 手君に手渡しながら「我歌の腕 前さんなもンだい」さ振り返る で歌り出し「矢服りホンモノの を取り出し「矢服りホンモノの を取り出し「矢服りホンモノの を取り出し「矢服りホンモノの を取り出し「矢服りホンモノの を取り出し「矢服りホンモノの を取りまる

金十圓 元 公署吉田

新京城內西三馬路三間周

サービスを致したいと考へ宿内のを着とりないとないのの一角に聳えさしました、而して皆様に百パーセントのの一角に聳えさしました、殊に國際都市として大連で女軍十數名を連歸りました、殊に國際都市として大連で此度第一回先發隊として京阪地方より美くしい垢拔した 十五日午後九時より開館し、其 **十五日午後九時より開館し、其味覺とデビユーに場より腕利を招聘し、最新式のモダン料理店として來る**

(質を連行す 廿二日ぶり米 「職能を有するだけに直後新域紙上への機能中の米人が匪賊に拉致された事件は實時一

部報道の通りであるが監局では事件

あるが當局では事件が國際關係を有す

あつたさころ十二日排火、二十二日目に救出し得た

に拉致された旨ソロモ

ので十三日これが記事間数を解祭。

たものであることを自白した、 質さして拉致し身代金を要求し はり騒びモーゼル拳銃が艇し人 まり騒びモーゼル拳銃が艇し人

#、アンナ夫人を救出したが、取った利洋行に来り身代金二十個を要求承人を脅迫中なるを探知した要求承人を脅迫中なるを探知した。

黒虎 の部下で去八月二十一

拉致された米人より雇品験するのみであった 見に至らず、憲兵隊 很氏の配下及び滿洲 も成功せず捜査本部

は戦の ために眠りた覚える、 出し得ざるや!不幸なるソロモ 出し得ざるや!不幸なるソロモ

交渉に當つた小日向氏及び な読ひ出し四百餘名

◆申込期日 九月二十

目及び住所氏名、年齡、職業(返信にも住所

◇申込場所 大連市役 所學務課

東線水計畫は 原順給水計 畫 や 完成する筈で 高順給水計 畫 や 完成する筈で 高順給水計 畫 や 完成する筈で ある

村上久米太郎氏

篠原

塗外 擦用

満州代理店大連市聖徳衛四丁目二二四大黒屋栗店電話九八七四番をお試し下さい殊に肺ロクマク神經痛の方へあらゆる服藥療法も効なき方最後に一度本劑

表彰金寄附者芳名

設營

業

開

設

ラ

'n

市村源二

全五十九圓八十錢 金五十二圓五十六錢 金五十三圓五十六錢 金五十三圓五十六錢

金二圓 大連松風釜四一陽 水薫雄 銀有志 紅有志 大連二中三年某

目種業營

ジヘオボラカ

ドルクルク

乘用自動車

エッーン ムボデテ シービ

小計 四百三十八圓五十七錢 圓 大連關東處首職學校一生 千五百九十四圓

新車豐富陳列、

乞御來觀

操合自物

動車及

四十九銭也

お正 十二日付養表の金十圓三妻商事會社大連支店金物掛一同ご表の課に付き訂正

掛一同の誤に付き訂正

南社 **康徳洋行大連支店** 湖 阙・闕 東州 總代 理店 路 東州 總代 理店

•

拶

二九二九

四番地

のに一般にはびこり、ゴローへ、 いい、関色の品を敷きし如く空 いい、関色の品を敷きし如く空 いい、関色の品を敷きし如く空 ですり、関色の品を敷きし如く空 ですり、関色の品を敷きし如く空 ですり、関色の品を敷きし如く空

常盤橋河島ミシン電話六六八四

藁布

大連市西蓮九三常盤橋附近大連市西蓮九三常盤橋附近

平川家畜病院

担別当町主射断耳断尾質費診療注射断耳断尾質費診療

大連家 畜醫院

西崎藥學博士

医院·治療·名薬

大連市磐城町五八 南海党 止打粉有り

簡易

大黒町一〇六 電二一〇八 電二一〇八 電二一〇八 電二一〇八 電二一〇八 電二一〇八 電二一〇八 記述

質ひたいが」

はかりの者と又濫を買って なものかな。時に老爺、何

一シ、ザアく~~~~こ、 洗ふ水の音。此の狀態を見て 添か

の音。此の狀態を見て忠。サブー

高級

一五〇〇圓 電九〇一二 電九〇一二 下盛業中無人の爲譲る

宿

實印

の御用は

瀬戸物へほり込み

電七八五九番

不二 **灣** 寫 版 不二 **タイプ原紙** 大連市桑町二(惠比須町電停前) 満洲 **大 氣 堂** 一次選売 電話四二四九番 新京興運路(宮城前) 新京興運路(宮城前)

日

邦文

本病 薬、大學ミッテルの出現大連沙河口大正通八五 三共商会

蓄音器 修繕は

日満ラヂオへ

三三一町圏公西市連大 (東文文集書前門正圏公央中) 眷九五八四話電

繁宝四三世さかい本店 である。

仕立京吳服卸

邦文

浦萬

女給

牛乳

区院·治療·名薬 A

女店

派教育

女中

和服

技師大至急二名入用

(N)

道

圓 玉 路

(30)

校正回月X 光線應用

山田行正

は自然にたすであらう。老爺、されば能は際は紫底の老人に買い、 地機は際は紫底の老人に買い、

ろぶと階級されるぞ。押さ

たら正響の徳と思ひ、確と云ひ又と 生色無き草木も、此の雨に浴して生色無き草木も、此の雨に浴して

じ此の大学立、有難い。これで斯「有難い――正警機の信心天に通

て此の降雨。これは歩には居ら門は、柴田三郎兵衛の鎌言版中

限る奴の特質が地られえ。金があ、はしたくないさ思って居ります。 なアに一日に錢の五百もあれば生 なアに一日に錢の五百もあれば生

はいたかけて定る船のその帳は、 過ぎると、連がドンコリミ曇り、 過ぎを飲みながら、潮風に吹かれて なたが、今の四時、群の時の板を がいかりでである。 修票集

四四九一番 拾章

簡單 電話 債券 利安く最も長く立替

Forigonopin 東質(三十球 一圓五十錢 藥質(二十球 一圓五十錢 藥質元 日本 阿四四 大連市信濃即四四 張替大連四四九十 振替大連四四九十

萬 黒 焼 振替大連六二九一番まむ と瀬崎 小 松家 本 店 强力治淋新藥 族鳥けんか友達 版鳥けんか友達 一条五郎・橋之助の

映画 県 内 双 其ファニXイバセ 大田他スオーギツロノ 血ハン仔リチン 大連市機花豪二四九

東京 電話(二人)四四五番

天賦の滋養強壯劇です。病弱の人 に動な子供、劇終の方にお獎め致 します。

掛○○五八話電 〇明大小紙の 五洋山間各紙 九布通紙種屋

自然回復 地震 一百 共に苦しむ 一百

百 日 安

借九六八七話電

*編厚司作業服 ズボン

ビスいたします ビスいたします でスト頭ます でスト頭ます でスト頭ます でスト頭ます 赤

洋 電話 21323番地

步進んだ近代的頂腦藥

長特

も冒断をとはされ なく、顕版の使辱 し、しか

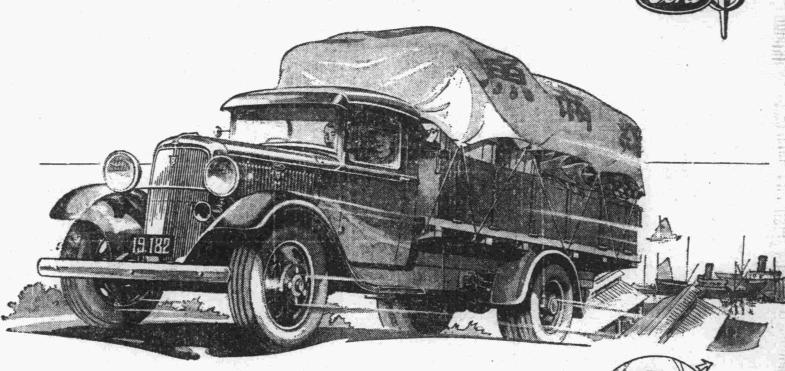
0

トンボ印鑑 蜻蛉印_小 國産之王様





牽引力はトラクターに等しく 速度は特急列車の如し



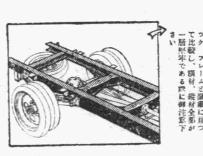
フォード V-8 トラツク

如何なる價格の他車よりも一層快速に走行します

同級の如何なるトラツクよりも一層堅牢で、より多くの重量品を選 搬する事が出來ます

ガソリン、オイルの消費と維持費に於てはフオード會社が之迄に製 作した如何なるトラツクよりも更に經濟的であります

詳細は何卒最寄のフオード特約販賣店へ御照會下さい



大特長

横濱 日本フオード自動車株式會社 子安



acondicional and an article

たて適確なり 総便に用ひて奏効速かに が見、乳幼兒の下痢

三百錠・一圓五〇 各地有名薬店に販賣

副作用絶對になり

ンー薬

音洋行

大連五署員の宣誓祈願

杞憂し動くは慎まれたい

東京特電十三日發」在滿機構改革家は形

(刊日)

の職職加入問題に最後の集想を要 の職職加入問題に最後の集想を要 が立てるため十一日の理事會が特 が立てるため十一日の理事會が特

西尾參謀長

參謀是は在滿機構吹草問題し繫決 に近づき中央部での打合せも終 けさ歸任の途に

聯盟側大狼狽

心要を主張

警察官招聘

民政部警務機關充實

務省に協力し

戸より大連經由歸低の途についたので十三日午前九時東京縣養

用を挑定することになった、同氏人物考許委員として川人民政部特

軍の新規要求 一分の一に削減 大藏省の第一回査定

一三日入港はるの人丸で来連らたがり 三日入港はるの人丸で来連らたがり 売直より昭和製鋼所はどめ滞州國 を地等製狀態並びにセメント事場 について調査をなる約三週間の像 について調査をなる約三週間の像 について調査をなる約三週間の像 で三回目、事變後は初めての来漏定で朝鮮郷由離校する滅洲は今回

就主協議し近午終つた 東京は、全地等のほか 中西地方部長、管村農物課長も出 席も公主議長事試験場用地問題に なき協議し近午終つた 滿鐵重役會議 有吉公使歸滬

却つて諸計畫の遂行を遅延せしめる事になる **曽見を総つた有吉公使は今朝七時**「上海十三日**後國通」 注標**衛氏さ

けさ檢事局に召喚

▲ 変刈隆大将(関東軍司令官)十 三日午前九時登はさで北行 三日午前九時登はさで北行 北行

民《大連續道事務所長 (満鐵ハルビン建設

交々立つて赤裸々なる所感を述べ開意の辭に次ぎ、四、五名の有志

金鵬員な聴識させ、同六時半部配

さもつゝあり、今次の運輸の概本思想が交武各々分を守るべしさいふにめるだけに内地の球界に繋したが、十三日は大連をはどめ発満に決及し、昨年の高感吹組購ぎ以上の臓感な空気を膿らせて來た存落機構吹取問題に繋する内閣の腹部が液炉館に不神さなるや、剛鬼腳笛更の反影連動は機然は熱化

忠靈塔に宣誓祈願

けさ大連五署員五百名

光輝ある歴史を

安東署員の決

けさ辭表を取纏む

在京大場房最短離職電報並に甲央 により振物繁維野売取を期すべく により振物繁維野売取を期すべく

却々樂ちやない。

斯うなるさ、産婦内閣子さんし

鳳凰城署員の

連名狀作成

り嫌がやく」と願いでゐる。 子供達の何人かはまだ「ソンナ

金州野

る本廳に送達

順器近大會な贈き左郎港議し局長 る監拝電したが、頭に十二日第二 要路に陸、外域架の宮賊に郎せさ

京樹業の機風は困つたものだ。

するのが教育者の遊っ

但し彼らにその戦風を組織

動がハネてから、お茶でも飲

島田芸書開録 葦原邦子。 秘恋

節刻お求め下さい・

を開設を記憶 女出で、快味躍る、 講談俱樂部第二附錄 **臧相、豫備金**志

行發日三十月九

昇 木 鈴 人行整 治代喜 本橋 人 橋武 村 本 人剛印 地番一冊町関公東市連大 社報日洲崙社會式除所行發

てる臘原上、之を第一豫備金より支出すべしと主張するに對し藤井藏相は豫備金支出を違法な、像想される、耐して櫃所が之を可決した後の間壁に機構吹乾霞施に傳ふ經費の支出であつて、陸軍兵他の方配では急速なる窓現を必要であって、前継送規窓膨縮の上櫃所に側路膨を奏請するりけであるが、樞府が憲法問題に絡んで相當論議を行ふこととあって、前継送規窓膨縮の上櫃所に側路膨を奏請するりけであるが、樞府が憲法問題に絡んで相當論議を行ふこと四日の閣議で正式決定を見ること、なつた、朦朧形定の上は誤糠扇において廊に前継並に之れに附置する誤嫌の立案を行ふ既東京特電十三日發』が蕭機構吹乾寒に斑獅翁の巌磯なる反難にも指らず、既に陸東、外級網翁の意見一致によりいよく十十 議會の協賛を求むべしる してゐるので、

菱刈關東長官語る なる人事の経験に着手し萬潘掌な が驟頭には滿寒下副機製及各理事が驟頭には滿寒下副機製及各理事

一言を豫馴し且つそ

きか期してゐる

陸軍は萬

遺算なきを期す

が終軍に林島官、鹽原秘書官常同

貴院同成會の 折衷案批判

順の態度が強硬なるためこれに抑。 一瞬の態度が強硬なるためこれに抑動 中心の髪であり、陸軍

の継後の歌儿園果殿事務視然一のため来旅中であつた関東長官

前八時五十分窓に被験者さして機 取らのさ否認したこと起してゐる三土前鐵棚は十三日午 る方配から贈與された【東京特體十三日聲】為諮問題を 他で継続さして某株式

が、事に、に至ったのは の等、事こ、に至ったのは の等、事こ、に至ったのは

に取容の等、事こ、に至つたのは と 事局に召喚された、十三日中に上

人つて昨年同様強硬なる復活要を

定に繋じて海軍では左の見地より 海軍側の のさ見られてゐる

▲酒井清兵衛氏(洪南級路局副局長)同上歸任

▲深川選氏(著述業)同上 ▲深川選氏(著述業)同上 ■ 高機縣移氏事情視發謝一行十名

京器経験会議に次ぎ十二月は午後に最後の貼を決め十一日の新に最後の貼を決め十一日の新

の決議

新京關東廳員

流転になつたら内閣の命取り。 要もなく、燥りむとなったのの総さん塗、若しセネクリ動して さ、我ご我心に云ひ間かせる田間題は取上げ婆さんならの櫃所 切書いちや駄目よ) 云つて來るまで、こつちからも

んで、配うは二人連れて寒っな性しさが脱さに、かかるまなでは、人で暗い郊外のアバドしているかのに引き替へて、と のだった。 に合間合間に、ふみ子は

何でもいゝ、職を得なければなら獨立して口を糊して行く為めに、 干薬の歸朝するまで、何さかして 「先生は?」

或日も、ふみ子は 千代 を訪れ

なかつた。

友達さ 散歩に出て行ったわし 「お姉さまから、先生に糀んで下へ達さ散歩に出て行つたり」 紅酸のこさか戦んだりして、



富士の裾野の巻狩臼山

末廣九大教授

鑛業調査に

も知らないで――〉 も知らないで――〉 航海中の子葉から何のたよりも來

関 らないから。寂しがり屋のくせがりが絶えてしまつた。 十 それッきり、またフッッリたよ だれた頃になつて、バリ安養の だれた頃になって、バリ安養の これも簡単なエハガキが来た。 「出られない?」 [:311 \ 400-]

湖 してゐた。 理)を書らせませうよ」 「その後で(或夜の出來事)を目 「どこへつて より三枝に晩翠町(支那粋)へつて――骸歩しない?」

大評判の名所録

ハスターの多彩、

裏切、しかも苦心苦園の涙 を秘めし太事實物語! ・ 大熟な・ 大感動・

苦島の涙

一般しなにてかかかを訪れたりも に、秋の帯なざ、うら悲しいやうな なしさになたたまれず、ふみ子は かりないですな 「今日は。また來たわし

削減に反動機までその要求の質能

しては、手織でも書くより外に、 田專太郎 島政二 (117)

足價 六十錢 (瞬)

講談俱樂部十月號は

大日本維辦會議院就

奉天の式典

男十六名、女九名でその著一名で出張所に避難し 表一名で出張所に避難し である。時中までに判明し

定にて日本な訪問すること、なつ 常関日本の女化その他語事憾観察 の為に十月秘麒より数一ケ月の像 では、一大月の像

1個人領事館

代表七チ

滿鐵都市對抗野球

一六日より大連で争覇

滿洲國皇帝、鄭總理を派せられ

新京で莊嚴に執行

前に なり交流百音が盛のもとに十選編 なり交流百音が盛のもとに十選編 なり交流百音が盛のもとに十里生 三日午前四時古式に即り孔子年ま 祭典を製行、天地神明の加護され な肺臓し同五時半球般神に終っても 丁した、市政公署では、の日 下も 大神時から市政会署では、の日 で前十時から市政会署では、の日

日本居留民會に押寄せた により完備隊では直に出 「無験中间十時半版一部 「本居留民會に押寄せた

型コットで死の漂流なつとけるこ で四日間部戦略に浸透を強れた智 ・海コットが十二日長齢に入港した 上海コット側栗部ヶ貫エッチオ ースト他三名に同俱栗部所有チ エルダン(十九崎)に乗込み七

世 体製し各月に國際を掛け宛然日本 の期引をなしモストリヤ部から式 場までの間は邦人を流滅したバス が最蛇の列を假つた、就在僧園は が長蛇の列を假つた、就在僧園は

デワ階上へ

スは民會の斡旋で料金

型コットで死の漂流をつくける。 暴風雨に遭遇し木の薬のやうな小 暴風雨に遭遇し木の薬のやうな小 でである。

仕滿校卒業者に

日午前八時大連入港の長平丸にて低探渉を乗貨背殿服の螺数で十三低探渉を乗貨背殿服の螺数で十三低探渉を乗貨背殿服の螺数で十三

ても決して等関視と得ない問題であたらうが、支那駐屯軍さして関東軍さ共に駿軍な抗議な費

とい六烈士三十年祭式典―

時意義派き記念日を終つたの餘順あり極めて盛奮連に午

ビンの盛儀

漂流四日間

外人ヨット長崎到着

附類が多し 製物ので記

定刻の十一時に以式場

大 ルーホスンダ檢

士の碑によ朝来から参

優先權を與へる

人事課當局では語る

、商業實習所七八名 、商業實習所七八名 、商業實習所七八名 、商業實習所七八名 、商業實習所七八名 、商業實習所七八名 、商業實習所七八名 、商業實習所七八名

日より門司、大阪、東京、高線新社域採用方針決定に経動するが中等學校は十に経動するが中等學校は十に経過では終る

大慶、東門慶校卒業生は昭和八年大慶、東門慶校卒業生に隣り成織は二分一以所を業生に隣り成織は二分一以下五名は實に九年度に此してさった五名は實に九年度に此してさった。

不戰區の支那側

依然不誠意

酒井参謀長來連語る

就職人

現象

中等學校以

度採用方針決る

さして六ケ月畝艦日総一圓六十錢 | ■ 一里・半整前◆選手… ◆投手田して雇員、月俸滿號採用は準飾説 | 岡田、満多野、佐野、大石

千三百一名の多數

代表作品を携

新京で日滿美術展

を共に同談的が宿願さも云ふべき を共に同談的が宿願さも云ふべき を共に同談的が宿願さも云ふべき

二日午後一時頃の二日午後一時頃の一日午後一時頃の一日午後一時頃の一日のか三名の中學

秋の運動場で大立廻

本國宗新記錄)圖盤投ダン四十七米カニングハムム四分四秋六(日米カニングハムム四分四秋六(日

オツキサマ

米四二(日本國際歌記録)等である

移民事情視察

グリコハ

イクツ

イクツ

一遂に参る

の追撃に

本日は味風

手に堰を選つてしまった。

たさいふ中壁虫協力の探低端一般がけたさころな叉を繋の中壁生がかけたさころな叉を繋の中壁生がかけたさころな叉を繋の中壁生が 戦車で何處までも行く

目前に迫り大連市においても極々し思る新に滿州事態三周年記念は 事變記念講演

世 と題する講演を行ふこと、なつた 日 と て満州事態の残骸者たる長谷部騒 と て満州事態の残骸者たる長谷部騒 と 小林に 死刑【東京十二日

(あのぐ)

林利平は死刑な求刑された 海事審判々決 阿波共同丸 千里島で ■東五二七回 振替×<○回四 専門の鐵谷へ 専門の鐵谷へ

事部より右毛皮一手引受け意子於(刈毛染羊皮)参萬枚

枚以上分割

昭和九年九月一日

大迪市

審判委員長、江原、職谷、事審判は十三日午前十時

堀井商店

大連神社月次祭 大連神 安東慰問感謝滿級安

瓶氏令旗 洋蘭家二瓶等

山城鎮に匪賊團

邦人は領事館に避難

天気予報

爽凉に

寶玉の抒情調

の呼歌戦五百名が数時に 明の呼歌戦五百名が数時に 明の呼歌戦五百名が数時に

西の風(晴)時々曇 滿潮(午前)時本五分 千潮(午後七時〇五分 各地溫度

齊王日本視察

十月初旬出發

今日の小洋相場(計一)

たから御知らせ致します

大連市聖徳街一丁目七三番地ノー

で店約門ルードリボの寄最

いさ下め求お上の意識ご

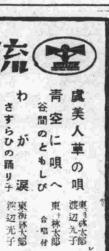
生徒諸姉に告ぐ



城の子守

東海林太郎

1020



渡辺九子 東一株太郎 1000 二〇八五

頭痛

を東百貨店毛皮部 代表電話三1七一番 屋

街本町通り

通座銀街鎮運車大 番三三一二二話電

村 ………五・五〇より書 機………六・五〇より書 機………六・五〇より書 機………六・五〇より

書棚 新季大連 電五九二二六電五九二二六





變なことをしかけて来たら

名古屋の

中の優秀記録は耐鬼投タン・古屋に開催された日米陸上市屋に開催された日米陸上 八(日本國宗新記錄) 起高跳 マー 日米競技

!步進の造構 ! 段値の頃手お

ラロトクヒ

賣發新 約店でお求め下さい

んの家の前

ふ者の親が知れるやう、お奉行の 一一イヤなに、貴公の手で、その 一一人で覧いたいご輸んださい

prinens silla Denis

っては、大作、其方は此處で待つたばかりの頭。

(224)

膳

映畵界空前の 佛名畫週 とえん

トンネル」と「咆えろヴオルガ」 本社後援で日活館上映 インキシノフ、並びに剛楽深い の生んだ巨匠トウジャンスキー作で、これを映識化するは口







特殊器具の考案製作の御依賴に應じ配線設計、照明設計の無料相談並に

せせん

鍼灸術專門

中の破損其他意外の費用が要り

の配役決定する

●呼吸器一般 開接 傷 ●呼吸器一般 開接 傷 ●呼吸器一般 開接 傷 一般 開接 傷 一般 開接 傷 一般 開接 傷

器具 在庫 價格低廉、 の御撰定が容易です!! は極めて豐富です!! 和室向、洋室向、家庭用商店用、事務所用、工場用 來ますから御買入れが極めて便現品見本により自由に撰定が出 器具の意匠、品質は多種多様の 各種豐富に在庫致しおります

スと合理的販賣組織により價格 優秀な製作所と特約し、大量仕 低廉、 品質優秀!! 場まで配達致しますから、運搬 地支店で御購入が出來、使用現 は極めて低廉であります。尚各

年古りにし 宅の店

共進洋行

種、魚粉、骨粉、蠣殻 肝油 製造販賣

南门 後田療院 電話二二九二四番



下-7术筒舞

新鲜·優良

南滿

全滿各地特約電氣會社大連·奉天·新京·安東·鞍山大連·奉天·新京·安東·鞍山

鹤井 町形人市京東 舗本



模範的頂痛樂! 胃肠をこわされ 英國製高級煙草 十本。二十本。五十本入 コルク 舞 代 瑰 蓝 蛛式會計 西川商店





理由 満洲における諸般の經施設並に政策は日滿經濟統制

されてゐる。同樣會提出の大連經路歐家全交は左の如くさなつてゐる機構改革問題と關係してなりその成行は注

、連商議の提案

新京の聯合總會へ

染織見本市

來月、四五兩日大阪で開催

日

織物同業主催

野する收入超過額は昨年同期に年一月より五月末日までの支出 一三%方低下した、即ち一九二

東拓、大沙河の

鹽田計畫を放棄 賠償金交渉が纏らず

ソ聯の加里埋藏

た。 がはより大野離店技にて帯主瀬田紙は、 であり、 であり、 であり、 であり、 では、 であり、 であり、 であり、 であり、 では、 であり、 でもり、 でもり。 でもり。

生果 南支商満洲大豆の 大正 売し、支那館は先 大正 売し、支那館は先

し (単位題△印 九短に野し

は土地さ移民さか一

総にやる農

加工の調料を 講習會

地で、北戦の神経の南郷

大豆強 况(十三日)

調

等取·引中寄 值引•

八八八尺

E-68 南町河三場広西市連大 告0-四五話電

汊尿器科 皮属梅毒 レントゲン科 専 大連若狹町三(西通入口) 医学博士

| 電話六五六五番 滿洲日報(廣告部)電話四四九一番 電話六五六五 西公園田春日小学校前 腎臟 肺尖 肺門淋巴腺炎及费高不良呼吸器及消化器慢性病 血壓及 消化器慢性病 婦慢 入院隨時

25

10

.

製約書詞入用の方は 製約書詞入用の方は 人人內科 X線完備 部本西阅南城卢江版大

所太京東 福權福京京東 部 電 甘五四五七 市建大 一四一町田龍

相 鈔

九九九五四九五五四元 五五五元二 二二二二四元四 江庄場馬

特 獨 料平

藤姿 産地領報は緩同事、青八 常市は氣乗灘閑散 銘柄・約定期 値 段 枚数 銘柄・約定期 値 段 枚数 井上醫院 卷 新五二六〇番 生殖器障碍 病 指書林疾

大連市 愛名町ニーバ五三四 七町の吉市連大七六二三話電

支店 電長三 **六**運

崩れの極そこ「辛抱は金」である ・ 大学ぶ瀬もあり」へ勝敗は最後 ・ 大学ぶ瀬もあり」へ勝敗は最後 ・ 大学ぶ瀬もあり」へ勝敗は最後 ・ 大学ぶ瀬もあり」へ勝敗は最後 ・ 大学ぶ瀬もあり」へ勝敗は最後 ・ 大学が瀬りになり、本「矢も前らた ・ 大き館である四面整漑相場投げ

(四六版二百五十百以須参考書 株の 土土真装釘拳

限 交盘 交易 农场 大引 寄付 大引 編集 (100 111/50 (100 100/50 (1

射越

商

は資投式株

民問 東亞勸業更生案を否決 當分消極方針持續 題 ミ満鐵

関うにソ聯の加里外國輸出に昨年 ではいいでは、100円のほか、中央 相合長の選は相當紛糾するものが ではいいでは、100円のほか、中央 相合長の選は相當紛糾するものでは、100円のほか、中央 相合長の選は相當紛糾するものでは、100円のほか、中央 相合長の選は相當紛糾するものでは、100円のほか、中央 相合長の選は相當紛糾するものでは、100円のほか、中央 相合長の選は相當紛糾するものでは、100円のほか、中央 相合長の選は相當紛糾するものでは、100円のほか、中央 相合長の選は相當紛糾するものでは、100円のほかにはは、100円のほかには、100円のは、100円のほかには、100円のほかには、100円のほかには、100円のほかには、100円のほのはは、1

れさなり酒々 環境不良から

四八十銭安に寄るが、十 大株一圓九十 大株一圓九十

神戸日米 二回 元州八分七 二回 元州八分七 元州八分七

五品新

安值

工力株崩落

銀塊及為替 金銀塊及為替 企業場域。三片三分二 同・先物。三片三分二 同・発物。三片三分二 三十三分三 三十三分三 エ質銀塊、公留比三分並 エチェンダ 二州三分一 エナコンダ 二州三分一 エオール 三州三分一 エオール 三州三分一 エオール 三州三分一 エオール 三州三分一 エオール 三州三分一 エオール 三州三分一 エオール 三州三分一

ず内地に輸出され

市場電

大阪株式 大阪株式

北満貨物保險の

擔保割增金引上

銀と株の大き

用 通 品

麻袋見送

綿糸崩落

神戸期米 神影的 前場引 前場的 前場的 前場的 前場的 前場的

(4)

本地域を送ったによくまり連々ことで震動した農場はその限度で仕事を織け、更に難島に對する金融は額については一切理規維持さすと決定、途に東亞鵬製の更生製を開かられたは一段の活躍を必要さらて難に同社の更生製を保護、高球では、東亞鵬製の手をお社長は十一日の滿飯の重役會議に参呼して被案の説明に置ったが、重役會議に於いては、東亞鵬製の手をが批長は十一日の滿飯の重役會議に参呼して被案の説明に置ったが、重役會議に於いては、東亞鵬製の手を放出長は十一日の滿飯の重役會議に参呼して被案の説明に置ったが、重役會議に於いては、東亞鵬製の手を放出長は十一日の滿飯の重役會議に参呼して被案の説明に置ったが、重役會議に於いては、東亞鵬製の手をなけ、一世し野屋とでは、東亞鵬製の手をなけ、一世し野屋とでこととは、東亞鵬製の手をなけ、一世し野屋とでこととは、東亞鵬製の手をなけ、一世し野屋とでこととは、東亞鵬製の手をなけ、一世に大阪田町の工作、中華町製の手をなけ、一世に大阪田町の工作、中華町製の手をなけ、一世に大阪田町の工作、東西鵬製の手をなけ、大阪田町の工作、中華町製の工作、東西川製の工作、大阪田町の工作、大阪田町の工作、大阪田町の工作、東西川製の手をなけ、東京町製の工作、東西川製の工作、東西川製の工作、東西川製の工作、東京川製の工作、東京川製の工作、東京川製の工作、東京川製の工作、東京川製の工作、東京川製の工作、東京川製の工作、東京川製の工作、東京川製の工作、東京川製の工作、東京川製の工作、東京川製の工作、大阪田町の工作・大阪田町の工作、大阪田町の工作・大阪田町の工作 葡萄より資金の融通はせのが現在までの資金を選繰りする程度で潤極能に觀觀することになったであるから、同社は現在までに開發した農場はその限度で仕事を續け、更に射農に對する金融に 大連農事も

るであらうさいつて悲鳴な揚げてくも干萬留乃至千五百萬留に達す

營口紡績の新

庶民金融機關の

山下汽

今朝の定期は大豆は輸出筋質に奥 地筋質も効かず近期は強調を辿り 地筋質も効かず近期は強調を辿り で示し高粱は奥地質ひに昂騰を告 げた

世 出來高 二百里 出來高 十里 豆 柏 出來不申 豆 湘 出來不申 豆 米 出來不申

七里

四九〇

◆定期前場 (銀班)

落、新見の五品

柄前場寄前場引東京株式

東京期米

大連五品市

更に四隻

充實が必要

古田鮮銀支店長談

した山下汽船を記した

本大 豆(強調)単位厘 ル月末 2010 2000 2010 2000 十月末 2010 2000 2010 2000 1月末 2010 2000 2010 2000 1月末 2010 2000 2010 2000 1月末 2010 2000 2010 2010 1月末 2010 2010 2010 1月末 2

十月九年九和昭

四

當分現狀を維持 エスカヤ・ジーズニに使れば、本 に更生を魅する際口様緩食試した下の際みが持上つた、即ち近着の 【警口十三日愛國通】朝鮮様縦につり、郷鑑選運輸機關に今度は收入医

空号 | 陰中で本年末には幾工することと | 下新機械を大阪と英國とに終日萬文出に | 下新機械を大阪と英國とに終日萬文出に | 下新機械を大阪と英國とに終日萬

語る おいて職艦の鉄鑑支店製館歌に出 おいて職艦の鉄鑑支店製館歌に出 が十二日午後 七時半着はさにて歸低、左の通り

店長か東京に集め 店長か東京に集め 店長が近く南支方直旅行に出か

◇定

寄付

期(單位以)

水水

保料薄で

值值值值

上海標金

トの需要

戦した。 ・ 本洲特整殿洲山崎艦さられてぬた ・ 本洲特整殿洲山崎艦さらて十一本 ・ 大きよりそれくく就航する等で ・ 本地では、大きない。 ・ 本地では、大きない。 ・ 本地では、大きない。 ・ 本地では、大きない。 ・ 本地では、 ・ 本では、 ・ 本では 大月中

一権らず着戦のた 増を示す 常な職者ときれる 本民衆に黙しま

ただんない。

本の影材が一常に東部を貼げておの非常手段を後援したのも、生命総を売る以外にこの消滅を 場合はいかあったことは

世 ・ も同事倫敦十六分一 安ご海外市況冴えず▲上海日本向も保合標金強保合ご材料 不引立を入れ▲當市も極度に 氣乘薄閑散で質買双方共氣迷 ひ弱保合商駅であった▲アメ リカも大統領の總選擧を控へ 人氣取り的のインプレ强化が 行はれるのではないかさみら 行はれるのではないかさみら 行はれるのではないかさみら に場合が来 関市場が一向に冴えないので 動履待ちに保合ふ外ない を選方は期待してゐるが米 関市場が一向に冴えないので 動履待ちに保合ふ外ない まず新東日産共三、 と関方と表現る を関方と表現る を関方と表現る を表現る のではないかさみら に別まるが米 関市場が一向に冴えないので 動履待ちに保合ふ外ない まず新東日産共三、 と関連を とのではないかさみら にのではないかさみら にのではないので 動機行るに保合ふ外ない を表現と を表現と を表現と を表現と にのではないかさから にのではないかさから にのではないかさから にのではないかさから にのではないかさから を表現と を表現と を表現と にのではないかさから にのではないかさから にのではないかさから にのではないかさから を表現と を表現と を表現と にのではないかと を表現と を表現と を表現と を表現と にのではないかと を表現と を表現を を表現と を表現と を表現と を表現と を表現を を表現と を表現を を表現と を表れと を表現と を表れる を表現と を表現と を表れる を は、 大阪 に あっり参 大阪 に 大阪 に あっり参 大阪 に 大阪 に あっり参 大阪 に あっりを 、一大 大阪 に あっりを 、一大 、一大

地株新安住 新東日產續落

出來高銀對洋大萬四千圓

大連戴島里光六:大連戴島里光六: 金幣對現物 **剑幣對**(現物 天

秦皇皇 秦皇皇 **秦皇 秦皇 大皇** 5,00

10,00 10,10

1111,20

場馬

B E.

・松野

第次込申削

カ店

呈贈料無

るあて法殖利の的理合

后

在滿機關改革問題

るのだから先手を一 いづれば満

さいふのであり、

ってぬた、

H

は 大の世界や歌界がこれた支持した 地の野界や歌界がこれた支持した 地の野界や歌界がこれた支持した 地の野界や歌界がこれた支持した が高に流産になったが かか かか がある以上、何らかの は なれ は なれ は なれ

おって社長管獨自の立場から立家 い総職に鑑みて、當時中央管局にすべしさ出現したが、潜極派は 一、日本の對議國策が確立して活っては無が世上に公表、對し

多岐なるために溝線が社業遂行これの場所関策が確立して居立の。中央より溝線に對する命令がでいる。

満級のこの意見書は捕象的なものこの二つの意見を提出して居る。

名の離土に依り拓務家の様性安告 名の離土に依り拓務家の様性安告 を動きたいり を動きたいり を動きたいでする。 名の離土に依り拓務家の様性安告 をいまたのり をいまたのかである。 といまたのがである。 といまたのである。 といまたのでなのである。 といまたのである。 といまたのでものでな。 といまたのでな。 といまたのでなる。 といまたのでなる。 といまたのでな。 といまたのでなる。 といまたのでな。 といまたのでな。 といまたのでな。 といまたのでな。 といまたのでな。 といまたのでな。 といまたのでな。 とい

て別に満鎮に對する命令系統なご

治問題に團體として關 が配響がかいる政 がの働きかけて行くの は不穩當であり、且つ は不穩當であり、且つ

役團および社員會の態度在滿政治機構改革問題の

漸く注意されるに至つた展に伴ひ、滿鐵との關係も明瞭となり、

滿鐵飽迄靜觀態度

たことで、今次の機構形式で滿鎌改組案が蘇びることは豫想され

を振察してこれが野家を講じて置いてこれが野家を講覧でしていた。 を振察してこれが野家を講じて置いて活動しその はここを主張するものあり、改組 くここを主張するものあり、改組 くここを主張するものあり、改組 を振察してこれが野家を講じて置い を振察してこれが野家を講じて置い を振察してこれが野家を講じて置い を振察してこれが野家を講じて置い を振察してこれが野家を講じて置い を振察してこれが野家を講じて置い を振察している。

(京杉浦代理等 米素種を打合せの

こあり、斯く陸軍と政府の意見一致した上は外務省の融解を求め又各關係に非公式に諒解を設官を以て充てるさの陸軍の希望に對しては考慮を撓ふ、便直層の對議事務局の聽載も文官を原則さするが武官を以て之に充て得る、總裁の下に次使の下に在る事務總長は原則さしては文官さするも武官をして兼任せしめ得る統能に全権大使の身分は政府案通り

改革問題が起るや滅滅社員會内部ある、故に今年七月中央において

事務局總裁は文

火を駆けるや沿線各警察院

高山、

三日午後二時大連民職等に参集布 野菜の害施を依頼する電文を各大臣並に要路大官宛打電し、

令傳授山本少將に訓

十八日首相より

から騒ぎはしないさ思ふったの人達がは何れも心得のある人々であるな事へられてゐるがその人達ながれてゐるがその人達な時にも行く

中等學校

靜觀

本大電話』率大電話」率大電話」率大電話」率大電話」率大電話」を本版に打電するさ共なの決議を本版に打電するさ共なの決議を本版に打電するさ共なの決議を本版に打電すると共

各大臣に

を集めて右報告をなした

重な主張し、結局この

暴議官師部信任、同荒木真夫牌大粉が有力観されてゐる、機關皖革に伴ひ内閣に設置される初代の對派事務局總裁に

大將が有力視されてゐる、若心中將緩より銓衡すること、なれば第五師廟良小磯國昭中將、第一師廟長柳的る砂代の點滿事務局總裁に對心陸軍側では武官を以つて之に當てる意圖だがその場合大將緩さしては軍事建備命支出を以つてする事(一)吹革案はこれ等の手續さを完了心本年中に資施せしむる事、而して在滿

なつた(一)同案は隙談状定の上は案の内容の重大性に鑑み上巻財悪を除ぐ専(一)同家は可及能趣なつた(一)同家は陰談が定の方法に就き政府を突逃した結果大體次の如く手續きを執る事と『東京十三日登園通』政府の在清機構改革候状案は十四日の閣談に可談状定を見る事になつたが陸軍

早くも月旦に上る人

かに各種の手織きを執つて空籠する事(一)製裁を使つて送酬局において富継を制定権所御諮詢の手なつた(一)同案に開闢決定の上は第の予章の国フヤー島、「リョリー」・「東西」

第十師院是建川美次中將が適低者さいはれてゐる『寫真は小磯師閣長』

寄する。機構



幾ら飲

ん

で

も滿人間に大なる感動な奥へ好きださの話だが、それより

三土氏起訴理由

事件處理の完璧を期す

必ず判任官は

るな

獨學顯の機は今日天地正に清凉

つて最も早

檢察當局の見解

事實をも否認したといて三百株の動謝櫃の意味において三百株の

勅許執奏手續

醉は

ぬ酒

くなるさいふのが久米厭長のてゐるものにバイカル酒があてゐるものにバイカル酒があ

IN

石、神の鏡めも

政の解新に

がないでは自訳であるから個

一、今回の事件は前内閣を到裏せ ・ 会団の事件は前内閣を到裏せ ・ 会団の事件は前内閣を到裏せ ・ 会団の事件は前内閣を到裏せ ・ 会団の事件は前内閣を到裏せ ・ 会団の事件は前内閣を到裏せ

東京十三日登園通 小原法報に 本日午後一時参内鈴木侍後長を經 て三土前敷樹地派に 端。「規控技術

教授指導

三土氏の談

十三日發國通》三土前級科

學卒業程度の學力にて、

新しい教授法と、頗る安い學費で而も小功の道は、先づ判任官になる事である。

ス里者は先づ判任官から

7月、遅くも一年の獨學でキット普迪文官・裁判所書記・警 ・普迪文官・裁判所書記・警 ・一年の獨學でキッ

人氏

豪酒だが、飲んで酵うたことくなるさいふのが久米騰長の

地方行政設官さ 天省公署總務顧長に……低人、深い奈良縣知事から滿洲國奉 蔵除、意文

在滿新機構本年內實施

滿事務局初代總

適任、小磯中

かっ

地方長官の經驗が深い

別に対し重役関も 別で見られるに至った、この新秋 ので見られるに至った、この新秋 である城武毅氏の信任も厚いので民政部大臣であり、省長

社員會 も依然として無いから一歩も踏み出すことは電分あり得まいまで、何分直接清晰に及れてものですがかりがなく、お局現状の静觀主義から一歩も踏み出すことは電分あり得まいまで、

在旅官署員有志大會 分能會

歌上左右には長さ一丈四尺の自布 後七時四十分より第一小駅校に於 て駅艦、飲いる若八百餘名に塗し で駅艦、飲いる若八百餘名に塗し

主大なるものにして革間題は帝國對

るべく確信・【東京十三日教國通】岡田首権は一名最良家た

加務案防

辭表を取纏め

「決死」の覺悟

署長奉天會議

は一變し、從つていづれはジャの改革案によれば實物には軍に歸屬するが、滿いは、一變し、從のでいが、滿いは、一變し、從の改革案によれば實際的には軍に歸屬するが、滿い。 宣言·決議 られてゐる

の人には

心得がある

定めし地方制度の監察・現在は地方行政

かねて見 米他人のモデルにて

0 はあるまい。

しかも温顔明朗、飲め

の変が彷彿さらて稼動し、久は飲む程好々爺たる久米仙人

米職長は天界の人でないだけ

ないさある。(泰天)

せる所なるに事實は全く之に反 も中央の状勢は日々非なるた 共に帝國の前途に不動不安を感 共に帝國の前途に秘を関東驅 するものなり、故に我々関東驅 であるのはり、故に我々関東驅 があるのはも、故に我々関東驅 であるのはり、故に我々関東 があるのはり、故に我々関東 があるのはが、故に我々関東 があるのはが、ない。 ではない。 ない。 ではない。 ではない

告人職 か奉じ行政の大任に當る く信するものなり

一、今回の事件は前内閣を倒壊せ しめた重大事件にして関係被告 は標で共の供述を證據さらて起 に重要役割な演じた三土氏は 之等の證據に引用されてゐる關 に重要役割な演じた三土氏は 之等の證據に引用されてゐる關 係被告の供述を模柢から否認す るが如き供述を行つてゐるので 之をこの儘公判に翹附する時は 之が動標さなつた事件金體の根 とが動標さなつた事件金體の根 とが動標さなつた事件金體の根 とが動標さなつた事件。 で表言語である。 で表言語である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 でいるるのである。 でいるるのである。 でいるるのである。 でいる。 でい。 でいる。 でい

廣く天下の正論の士に訴へ其の を触迄支持と在満同胞は素より を触迄支持と在満同胞は素より 東平和の確立を募ふものなり 東平和の確立を募ふものなり 東平和の確立を募ぶものなり 東平和の確立を募ぶものなり 現か期せんさす

決議

し職を賭し

を保證する。 を保證する。 を保證する。 を保證する。 を保證する。 を保證する。 を保證する。 を保證する。 に學び先づ判任官になられよ。必ず成功 を保證する。 に學び先づ判任官になられよ。必ず成功 を保證する。

まで指導

學入學者は悉初志貫徹

無暗に騒ぐものか 岡田兼攝拓相談

十三日拓務首府部で會見後左の如 に入るこさ、ならう、拓相は何 時までも兼議さいふ譯にも行く 時までも兼議さい、群にも行く 時までも、在滿機構の改革に就ては今日拓 である、在滿機開改革後拓務 可である、在滿機開改革後拓務 可である、在滿機開改革後拓務 可である、在滿機開改革後拓務 可である、在滿機開改革後拓務 可以決定され、ば拓務省改組問題 に入るこさ、ならう、拓相は何 に入るこさ、ならう、拓相は何 チヤールス氏 (泰天電話) 花熊銀行奉天支店支配人チャールス氏は十三日はさにて大連經についた、後任には大連花旅銀行支店長が轉じ大連にはシンガボール支店長が乗任する筈

でせらる

で本職は其の威力を登録隊員九十六名の祭後員六十三名大學

が進出への一路に精

▲波邊中點會監《開東軍想婚部長〉 秘書役帶同十三日午後四時二十本八田嘉明氏(滿繳副總裁)杉本

◆待島又一氏(山東倉庫株式會社 事務)同上 本村田紹宮氏(本社々長)十三日 金州社復 ▲ 野島寅次郎氏(青島中學校長) 間)同新京へ 間)同新京へ

顧内の沸騰を尻眼

季新趣 子員募集

特典提供

さにて過率したが驟頭には三毛司を官て過率したが驟頭には三毛司は

菱刈軍令司官

版省長その他館成多數運送した。 土肥原特殊時間長、関市長、

長官が軍司令官兼

先づ!今直ぐ見本を請求あれ!!

容見本中には 2 れてゐる。獨文官試験玉種の學科表の外、以下一個所有金湖十九歲にで島交久の一に掲げた有金湖十九歲にで島交久の一個の外、以下一個學判任官を高等官 本講義の内 獨學判任玄盲試験突破

つ即刻見本を発育の講義録とない 第無代急呈講義録による研究法 一讀あれ。八書論家で成功博士學給事

學

野櫻木町

ける政治經濟的實践な先驅さし 紫清經濟策に反映して、満洲に 紫清経流策に反映して、満洲に て是正を促し、勇敢に政治師

能行動に多大の期待を繋いてるた むべく、その陣盤に肉源する一貫

在東京

E その派生的所産な政策が健康さなり 製作政が事業資本家の擁護さなり

を感謝の観覚からは在で終にして必至の成行

强権を回避する必要がない譯だルジョア陣巻は今のさろ軍部の洲事變であるといへるから、ア

方策な監襲する現内

内閣が其の前内閣の指標の

と 大々全職な

た▲悠揚道らぬ此

獨裁形態か一時の

な。 一年ママトホテルの軍、大使館主催 交部次長のテイーパーテイーに出 一年では、年後三時大橋外

ける無機學の搭裏に臨んだ際し、午後六時ヤマトホテルに於

八田瓣副總裁

見後日本何觀俗各方館を懸訪、正

【新京電話】佐藤、鷹藤兩大使は 佐藤齋藤大使 新京に於ける

野の終緊を指来し、××のお随で が歌の終緊を指来し、××のお随で

虚假つたことないふ以外 心配があるさ

がなるものではない 海運問題經過

部での間に診察が成立したで破壁 會議期間中に協定を成立させ

政府會商に移行 京に起いた
独四時二十分登列車にて大連数新では起いた 「本大電話」土肥原特務機関長は ・ 大大七の戦日熱河に於て開催され ・ 大大七の戦日熱河に於て開催され ・ 大大七の戦日熱河に於て開催され ・ 大大七の戦日熱河に於て開催され ・ 大大七の戦日熱河に於て開催され 土肥原少將熱河へ

▲機構問題で何うならうで流域

期5かならの空氣が騰りわたる▲

松ずれば南郷は「緑々繁計騒のなし

大秋長方に離映である「松に一元

本秋長方に離映であるに描らず、

本秋長方に撃吹が震鳴りわたる▲ れさも売めて別らかなるまい。明らかにさせまいこするのか、

東京市下谷區

旦る社會問題化したと評して的是非論を洗脱して、廣範圍 かくの如きは機構改革の法理

確起さなつてゐるから肝煎り役、 「一個代表は何れら小國の概念解論に 「一個代表等を端め小」 等の原販に質して居り端西、アクワに通野本園歌店ではする際歌にその後に差別的経過を奥へる事は歌歌にその後に差別的経過を奥へる事は歌歌にその後に差別的経過を奥へる事は歌歌にその後の原販に質して居り端西、ア いこの理由から

の歌歌加入問歌に記及し大國の故 なが相ば十二日の歌歌が露席上ソ歌 マランド自由國代表デ・ヴアレラ 緑道

問題なるまで解説は驚くこも数日 うるく避ぶかどうかはほしくなつりかイノフ氏さの質秘の話台通りへ駆鳴か加へるさしても果してり 外根が大側の質力を示 的待遇を承認する事に經野反野しを以てソ戦政府の職盟加入に特権

東京特電十二日餐 ジュネーヴ 東京特電十二日餐 ジュネーヴ 東京特電十二日餐 ジュネーヴ 東京特電十二日餐 ジュネーヴ

大連市民から慰問金

掃匪に士氣振ふわれらの勇士

上野高級制官は大連市民の何時に上野高級制官は大連市民の何時に

あつた

北で配も膨胀の冬を迎へるので早 なりまれたいさいふここであつ は安心されたいさいふここであつ

アン よりは間後五千国を暗景して各窓

地で今や邦人

黒河線の分

羅』

野する泥濘な

展票

勿論さう思はれいこさはない。 突の如く批評する。外観的には 対断政治さ文治主義さの正両衝 他には今次の紛糾狀態を見て

軍

警

慰

問

(上)

を求めて送附した草駅の中には左相がリトサイノフソ 職代表の承認

日

市各中等機械長を揺棄しその際立 げられてゐる 「市各中等機械長を揺棄しその際立」 が、機械長懶及水圏東殿機 するもので、 なりまに変したが、機械長懶及水圏東殿機に意見 児童生徒の監禁 はかに事業と

大連保導聯盟成案 總裁は關東廳內務局長

部部

三、八六三、六八五三、八六三、六七四、一八五

臨經 會 時常計入

世界 (1) 日本 (1) 八二八一五八二八一五八二八一五八二八一五八八二八一五八八二〇〇

電時部 三、一〇二、六〇〇〇 水灘さらては施工の迅速学 常部 七六一、〇八五 は伏流水を利用する事が と六一、〇八五 は伏流水を利用する事が と六一、〇八五 は伏流水を利用する事が とった。 (新京電話) 國帯建設 の登版人口の凝ボに能 をなすさ共に他方態 水遊さしては施工の逃 水遊さしては施工の逃

部線より乗心地よく一部線より乗心地よく一 **\$** 能水道の調の調の お高は地下水は取水容易であるが水質や良にして熟練強くアカ伊通河の伏流はその最は響音であり一大の大震が影響二年末他後の絵水の絵水質が影響二年末他後の絵水

費、整備の管理或は遊覧館費値等 総場の管理の経水能力、下事物、運動発したる 総成能力、下事物、運動 られないので朦朧二年末海は前郡

株長は治安最も観れ勝な地域の揺り を聴するこころあり、降けば同胞が には感験のほかなしさ郷重に が長は治安最も観れ勝な地域の揺り

上都市計畫 出來高(銀對金 十六萬二十)

服

征服

•

総条 大阪三島野保合な人れ常 市は投げご新装買で相當手合せな かた 銘柄 約定期 値 段 個致 銘柄 約定期 値 段 個致 同 二〇九〇 八〇 同 二月限二〇九五 二〇 同 一月限二〇七五一〇〇 同 一月限二〇七五一〇〇 綿糸弱保合 麻袋保合

同十約 月定 限期 土月兴

十五日發表

奥地市况 ₹ 500 111780

寒用使会太武教抗型市都鉄冷滿全 玉澤。運動 球用使会大戏野式軟地各端全 用品

店賣販るな重地各 木 運

全湖ラツキー 京玉澤大連支店 動 發賣元 店(奉 店(奉 堂(新 店(新 戊四 店(熊 店(齊 大連市迹鎖街 4 平 哈爾) 京街順天天 京

衆全般の休威に関する政治機 悪してゐるのに不満な小國代表並 がチェッコ代表ペネツスル外様で がチェッコ代表ペネツスル外様で がチェッコ代表ペネッスル外様で ガアレラ首様の演説にすつかり間がいいに新聞記者感はホテルの観鉛に ーがは蘇の巣を突ついたやうなたがこの爆弾的激散の結束ジュ

> 歌 杏 授 内以行十五

◆車掌に時々客器の整理をやらせ

際小戻し

め置く事、満人にも難分無滅處部拠学に改め日本交は僅かに止

後場市況中田田

■な入れざる切飾な渡して下車

(版二第)(二)

社會的看點

るべき客はない。然るに南々相彼此の間に置く割然たる相違あ

奪ひ合ふこさに依つて、甲乙酮情勢にある。互ひに他の権限を

とて居るやうに見える。併しそ 系統内の生活問題を擁護せんさ

れは決して道理ないこさではな

國策を主體さして考察するさき 省案さいひ。拓務省案さいふも

治論へ、政治論から権限事奪の

機開問題の

社

說

妙譜を輕視しては駄目だ。陸軍 統の區別のみな偏重して準液の

問題は、陸軍、外務、

約反對決議四川賣國契 英京支那學生 ◆年間日本機(管場にて電車の乗べて)では、常に迷惑主権だが、最連続に不快にと惑主権だが、最連が管車するとに、大変には、100時の中方に見受ければ日本機だけの中方に見受ければ日本機だが、最連ばに不快が重するとでは、100時の中方に見受ければ日本機がです。100時の中方に見受ければ日本機がでです。200時の時間場にであると、100時の時間場にであると、100時の時間場にであると、100時の時間場にあると、100時の時間場にあると、100時の時間場にあると、100時の時間は、100時には、100時の時間は、100時の時間は、100時の時間は、100時の時間は、100時には、100時の時間は、100時には、100時の時間は、100時の時間は、100時には、100時の時間は、100時に100時の時間は、100時に100時に100時に100時の時間は、100時の時間は、100時の時間は、100時の時間は、100時の時間は、100時の時間は、100時に100時の時間は、100時のは、100時のは、100時のは、100時のは、100時のは

● とからいつて配合く を調整に性地を調査し、 がなるでは、 がないって配合く を調査していって配合く

戦手や車等は臭いさ現職する、直に處置するや、どうも満人運

・一八〇 ・一八〇 ・一八〇

1

時々客さなりて見過る必

証に虚置するや、ごうも滅人運する容を動た見受く、彼等は正

ソ聯の聯盟加入

然立消えか

ソ聯側本國政府の回訓待ち

小國反對氣勢熾烈

関係の支那要生な以て組織する「四個の支那要生な以て組織する「四個の支那要生な以て組織する「四個の支那要生な以て組織する「四個の支那要生な以て組織する「四個の支那要生な以て組織する「四個の支那要生な以て組織する「四個の支那要生な以て組織する「四個の支那要生な以て組織する「四個の支那要生な以下組織する「四個の支那要」という。

府が國内における宗教の自由を保入しると電影を掛げこれによりソ職政 通常慣行を無視しが至一般原脈を の外國際監と破影し本契約に規定 の外國際監と変数し本契約に規定 された内容に抵験する契約に規定 を得すこうるは英帝國主教の四川 を得すこうるは英帝國主教の四川 を提出を表際ではるものだ四川 の手望を展覧せるものだ四川 の手望を展覧せるものだ四川 る質園契約第二十二條に聚興誠鐵の四川の利権を獲得せんさしてる

新京特別市の

て決定を見、年内には

目下の所被長間の異の

水道特別會計

五九、八〇二三七九、八〇二

豆

低

の賣りに低落を告げて大豆は輸出筋の買

四二、八七七四二、八七七

最後に加盟學校の種でなる。寄附金その他のでする。

るるのの助

臨經歲

五〇九、三二二一、五〇九、三二二

◆車内品度の文句側面

○諸人車掌は野祭不親切なり、

電鐵へ苦量

一般す、彼等に紙を支給す

元年度豫算

五四〇、〇五二

三一二九月月月月月月

150 十月 1100 110至 0公 七月 110至 110至 100 110至 110至

四〇、〇五二一三、六六二

一 二 三 三 三 三 月 月 月

屋問旗

(單位十錢)

特一

两里

テ・ヴアレラ愛蘭首相

ソ聯加盟案をコキ卸す

ホテルの寝室で何が出來る」

て秘密に取扱ふべきでない、全は「窓する事とと問題であるさ述べ」防がればならねといい。 ち如き権利を各国民に難じても後、底條に打飾し英帝国語義の侵略を実験政権の職黜加入衆の如き空間。 る如き権利を各国民に難じても後、底條に打飾し英帝国語義の侵略を能待遇を承認する事に継続反響し、同國政府が米國市民に許可した で調印されてゐる之等領國政を修修待遇を承認する事に継続反響し、同國政府が米國市民に許可した で調印されてゐる之等領國政を修 總額五百六十萬

ヤて四十七萬個の増加を見てゐる 中度鎌葉に比較すれば一般。計にお 中度鎌葉に比較すれば一般。計にお がて三百十萬個、特別感謝にお 其居社教土公常部 新書業費 他費費費費 他費費 一、大典記念市公會宣臨時部內譯

三五、五八五七六五

三六、三四五二六、三四五二六、三四五

(單位國幣圈) 機計 機計 特別會計 計 學校班築以本年 八二、四五 女出費 女出費

六七、四四七 六七、一五三 八六三、六八五 歳 臨經

歲入歲出差引髮質

河臺河堰止工事着手

上水道計畫

合閑

生

立徒募集

英邦英文タイプライタイプライター

大連四般は映線館標前以大正十二半の大連四般は映線館標前以大正十二半の

明十五日

定休

日に付乍

勝手休業仕

の町速浪

依り乍勝手臨時休業させて頂きます 本日は午後六時より增築工事の都合に

秋の香蕉荷 フドス (対戦三)通川大 七〇一九二章

歯科 西広場中央舘 衆

東京歯科医学1 1症 内 宗 電話22990街 Joy of the Tasto

花 大 高級維 **鯛、鰹、柚、** 日本各地名産 界各 鐵花、 D) 燻 荷 三五 製 酒類 尾

五・五五 四.00位 食料品 9

大連 電八四三七番 和服裁終 大連市信晨町市場則 新屋和服裁縫

较

数

交通文化の Z 海學生)他に熟練者

滿蒙第一の教育機開 大連自動車株式會社 大連自動車運轉手養成所 第一先驅 35番

大連市越後町(若狹町角)電六七五〇 はら、牡丹・芍薬・

、数行者 國際運輸株式會社 等割物及商遊配紙 經人紋 等割物及商遊配紙 經人紋 等 第1380 第 金三百六十個也 、額面 金三百六十個也 、額面 金三百六十個也

梶 一兒科醫院 小盆栽

新京東一條通

奉天春日町六番地入江アバ 出張所

語 五四六二十十二號館 三四號地 六二十十二號館

數棟新築中

依る「ブロック」構造にして殊に滿洲の如き寒き風土に適す酒井式は斯界の泰斗米國建築工學士酒井祐之助氏の發明に

井 式 保 溫 建築

依る「ブロ

賜り目下局宅御採用の祭を

酒

、単位十段) 電報

第六聯隊記念碑

上連、 満級本社さ打合せ中であつ 『華天』諸重要問題をひつきげて

崎奉天公費係主任談

九學級程度

號 二

+

百

本漢湖」防空演者に関し防空閣

演習迫る空

三毛司令官

周年記念日から十八日の事送記念 日まで四日歌、日道特殊關係の再 るほか東洋平和の確保を強調する るほか東洋平和の確保を強調する るほか東洋平和の確保を強調する

より厳酷なおりる日満年歌官民物性者 事選における日満年歌官民物性者 が兵を誘問し日満歴生代表者から が兵を誘問し日満歴生代表者から

より厳粛なるなない。

歐山合宜三毛中

の内容は

玉滿相撲協會を設立 の氣風涵養

藝 都市對抗大會

議州相震線會勝立諸戦備を続いて 所長、藻総三氏等が登起さなり全 ため立川奉天署長、纒屋地方事格 は、漢総三氏等が登起さなり全

化第一画会流都市野流相接大会 大國際運動場に於いて登金式を 大國際運動場に於いて登金式を 校覧等順備萬端號でた が立たがであるがとが

は一千圓で半年間かいらなければ殊に滿郷總裁の十五首郷製優勝盃 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 ででは、 でである。 ででは、 でである。 ででは、 でである。 ででは、 でである。 ででは、 でである。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい

君國につくさん

◆・・九月二日午前十一時南成子山 ・北成子山な攻略せんと前連せるも ・北成子山な攻略せんと前連せるも ・北成子山な攻略せんと前連せるも ・北成子山な攻略せんと前連せるも ・北成子山な攻略せんと前連せるも ・北成子山な攻略が変勢された変勢を襲き ・北成子山なないで変勢に戦況を襲き

た。 とく再び起つ能はず、部下は中身を健して大価齢間において懸急手を健して大価齢間において聴きす、部下は中身

大安丸の溺死者

七十八體を發見

會社から弔慰金贈與

部属一文字に貫通鉄線を負はせ楽削進したるさき厳環飛来中尉の腹

安縣校長の低神候職に成るもので安縣校長の低神候職に成るもので

今日の祭りの賑ひないざ諸共に祝ふなり、一、國の榮の御社される森の神御鑑理へ祀らん今日の日ないで諸共に祝ふなり、

寮祀らん大神靈

も再び起ち陣刀な

悲しき凱旋

沈選事件は其後大安治艦、大東衛,五マイル餘の地脈に於ける大安城

八幡大勝

の職死者を出した安東を下る三十

なつた」と言つた儘武人らしい潔さ述べ何等苦痛の色もなく「眠く

密輸取締令

反對陳情書提出

安東商議遂に起つ

見る事さなつた 一方連維船長山崎郁三郎以の貴 低については憲兵隊に於て事情 幡 にかいては憲兵隊に於て事情 幡 にかいては憲兵隊に於て事情 幡

常日は定めし盛況を呈するであるが期して猛練者を行けてゐるのご

『チチハル』八日の朝来降り初めまで、東四日間降りつゞけ蒙古路の まで、東四日間降りつゞけ蒙古路の まで、東四日間降りつゞけ蒙古路の を大き、一世の一大郎に踏み留 まつてるた水銀柱も脚燃十度内外 まつてるた水銀柱も脚燃十度内外 まってるた水銀柱も脚燃十度内外 まってるた水銀柱も脚燃十度内外 り鑑賞小竪校識堂において執行さ ◆・即ち八月以来法庫縣下第八區 つて自ら射験し苦戦監護部下な氏の告別式は十四日午後一時半よ のがある 医の告別式は十四日午後一時半よ のがある して起たしむる底のも ちず途に中息は鑑賞部子の天験に山において野綿なる戦死を遂げた 聞く着は何れもその駐綿義心に感 舞するさ鑑も一聯密子の天験に優けていて野綿なる戦死を塗げた 聞く着は何れもその駐綿義心に感 舞するさ鑑も一聯密子の天験に (編纂】去る三日法鐵繁魔北成子 しるが藤井中島戦死密時の彫況を す中尉自ら陣頭に起つて土縁を

甘珠爾廟會始まる

合國商人群で大混雑

炭都空を護る

- 六、七の兩日

大防空演習を實施

が霽れ、ば落葉焼く煙に北浦晩秋。滴ごさに落ちつ、あるからこの雨 金州の祝賀會

より和出する都特別にのみ適用する。 を東に限る、財産というの適用を発流の間に猛然な反響をの間に猛然な反響を受した。 できたし、財産を指したないでは、関東軍所に於ても安東所にかったの適用を発流の間に猛然な反響を受ける。 を東に限る、財産を活一層に行ふべし を東に限る、地方的のものであり若し安東斯 失きたして質味に即せず、公平を 大きたとでは、関東軍司 を東に限る、地方的のものであり若し安東駅の かに不正手段が行じるゝもので となるであり若し安東駅の を東に限る、地方的のものであり を東に限る、地方的のものであり若し安東駅の を東に限る、地方的のものであり若し安東駅の を東になる。

「れば兎も角圖們或は関東州境 をの他においても不正手段による輸入は過去に於てもこば/ \耳にする所 であり、安東的人の信用上票影響 を鷹と斯業發展に一大打撃を來 すものである、又其の取締令施 行によつて安東斯業者は連輸執 照下附に際し實際問題さして非 常に繁維な手数を要し延いては 徹取引の衰退を來し安東の中繼 関易港さしての價値を消失する もので酸法令實施については從 つて全國一齊に實施さるべきで のでを表し、

仕満機構問題 で

關東廳職員大會

瓦房店大石橋の決議

は温頭取の死亡後果績思はしく

松平英明·本間五郎共著學與六十二級

本位。住宅設計圖

大きの特殊に就いて悲劇性多いた とその特殊に就いて悲劇性多いた が特質家産は銀行資格種様のため とにおいて を上において の特質家産は銀行資格種様のため とに對いての意見 とれに對しての意見 それに對しての意見 それに對しての意見 それに對しての意見 それに對しての意見 それに對しての意見 それに對しての意見 それに對しての意見

學生青訓生聯合

壯烈な記念演習

大刀會匪襲來記念日

後者は既報の如く着々と準備が進

| 連輯間外重役で探摸を交し九時半 | (全州)| 窓地金州館及び敵務會共 | 連輯間外重役で探摸を交し九時半 | (全州)| 窓地金州館及び敵務會共 | 連輯間外重役で探摸を変し九時半 | (全州)| 窓地金州館及び敵務會共 | (本州)| 窓地金州館及び敵務を決 | (本州)| 窓地金州館及び敵務・ (本州)| 窓地金州館及び敵務・ (本州)| 第一年 | (本州)| (本州)|

職代表の競型會に電腦午餐、無窓 が、正午型電館に於ける在被各様 が、正午型電館に於ける在被各様 が、正午型電館に於ける在被各様 が、正午型電館に於ける在被各様 を表の競型會に終めるこれ時半

占

野来に備へるため撫服 来る十六日は燈火管制像で流習、近十六日大刀會順襲來 臓ぶ者は遮髪来敷次に深り研究は、當時 議を累れ飲べ事情完了せるを以て

錦州市民 をあげ

四日に亘る大行事

承認と事變兩記念日

五百名出動射烈なる記念演

はり市民の職心また高潮し防空膨 なり市民の職心また高潮し防空膨 を近の準備で献は経々活潑さなり でや空襲率れの気を流と市民心験

と「敵機を避ける短人管制」管制

25日は日本版人と日家貿易の状の法論も開かれ、六町四方の大師総は一千數百名の僧侶と數萬年は日本版人と日家貿易の先鵬さして多數乘込む關係上、國際運輸ハイラル出張所では特にバスを臨時運行し、廟市見物をかれた一般利用者の便をはかつてゐる、なほ本本の発見を対し、廟市見物をかれた一般利用者の便をはかつてゐる。 運動會開催

『奉天』北郷百部線の不成の災難 に遭つて延期された螺路線局の各 がである。

居るから市中はたと感激と昂然の 大街には牌機を赴て飛行機は絶え 大街には牌機をかる事になつて チチ 一周年行事 ハルの事

行事に位続されてゐるが、チチハ 勿識、登日本をあげて種々の訳念 第三周年を迎ふるにあたり登滿は 第三周年を迎ふるにあたり登滿は

に記念すべく、選銭来願係各機勝 に表者により協議の結果、ボスタ で、ピラを配付して事態の真意表 午前十時よりチチハル

【独口】禁口緊公署にては來る九 營口の催し 式順序を以

原本部隊資報室で居留民大会を開展本部隊員の訓示に次いて

町内對抗で

八日の事態記念日には午前九時一隊に記念塔、承徽の入口、定になってゐる

學校の學級增加

即ち事感安生の時刻には大砲を合

恐順鞍山間大送電 豫定通り開始 鐵塔工事順調に進捗

んごす中央要路に取次方を乞ふ案を支持じ以て之が賃徹が期せ全署員は一致結束し飽く迄拓務

ある

と 催 し

醫學 腳 計 渡邊 房 古著 四 於 學 定 欄 二 興

策を協議

| 教急法の渡邊か渡邊の救急法の渡邊か渡邊の救急法

はいることに考慮を見せ、 を開催すべく見下準備中、酸白い を開催すべく見下準備中、酸白い を開催すべく見下準備中、酸白い を開催すべく見下準備中、酸白い を開催すべく見下準備中、酸白い を開催すべくして、 を開催すべくして、 を開始する。

がこつそり探郷して旨い治を映つ 東天谷鉄武線と熱河谷阜新線の

少年野球戦

旅順に興味ある催し

なして満州國中央社會事製職へ会けた。 さして満州國中央社會事製職へ會

渡邊

満 三インターナショナルに做い、満 日上福で中郷民國繁三素の時代表 大会を標集して自ら其の標準され 大会を標集して自ら其の標準され 大会を標集の手段さして微の如く こつて一大政監の組織に努力し返すらしたが 故孫文氏未亡人宋慶齡女史が憲 【奉天】奉天西塔大館林製銀行で 含む)

一个変称有の影響で帯島響等に 内外四萬人の多数により、一人間 単二首元を使つたさするさ、八百 萬元が常島をうるほしたこさ、な り、ほくくくもの。 本書は著者四十餘年の診骸を基礎とし、家庭看病「家庭衛生」「家好急聚法」「衛生離話」の四篇より成り、手療法の危險賣樂の見所はから高低熱・惡感・呼吸鎮・吐血・低血・嘔吐・便診・疼傷・眩暈・本側・手纏・溺水・粒首絞首・窒息・諸中毒・咬傷・類はから高低熱・悪感・呼吸鎮・吐血・咳血・嘔吐・便診・疼傷・眩暈・水傷・凍傷・削傷消毒法・止血法等々思切に置く。

居者老醫の繰言

するものさ見られて居るの犯罪の有無については過く **489723113566**

內·容見·本

義 雄

■ メスを數爲人以上の患者に執らない限りこの味は超對に出れて、この皮肉、この語觀、正に釋家隨まの容華。醫業ので、例如數十項目。一體位きと笑ひと人生の寂に東面も得す。所收數十項目。一體位きと笑ひと人生の寂に東面も得す。 ▼四六制四六〇頁 ▼定價 二円 ▼途科四十二銭

本 東京二八头七五 市淀域與月級町一/一〇九

は患見のツ

-

ラ

ラ

唉

袁

日

があります。先天低能見にもそれぞれな

天的原因がある通り精神の膨緩兒の態を見られている。

月 九

でいさらさ不便は常の子より一しの煩懦は俗に「馬鹿な子程可愛い」

。 味を致見し、それなずんずん引き 関一数へ、性能の中から彼等の興

質験のある事でありる

人前になるのは既に多くの

根氣で敷はれの後等が立

が必要にいるさはしい遺音、

低能兒

にそいがれる

痩せた

V

許

減食したり絶食したりしませんか

もしあったら考へて

アメリカでは、やせたいために減退したり、総食したりする婦人が相違らず絶えないされた可能性に異に動物の場合によって起される酸液過多症は、男子の場合よりも女子におっては男田の絶食によって起される酸液過多症は、男子の場合よりも女子におっては男子にど完全でないことによるものである。その結果不完全に酸化された可機酸の累積が婦人に對して典型的な酸過多症な素き起すのである。
「週間の絶食によって起される酸液過多症は、男子の場合よりも女子において適かに明瞭に現はれる。この事は絶食期間中に脂肪分を酸化させる力が、女子にあつては男子にど完全でないことによるものである。その結果不完全に酸化された有機酸の累積が婦人に對して自然を強力が、女子にあっては男子に対して自然を強力が、女子において適かに関係に関係を表する。

それだけではなく、衣服も関質で してはならぬさい ふのです

が手能に属いた。見るさいろく一番が上版が私のなが、変を歌中が黄海で投身しいた。見るさいろく一番



ルキーの 味のもの、或は平結局それが最後に でき色々ある 素から準備

ふ意

科さかで普通になります由ですが

術出來ませうか(大連一讀者)

簡單に治るが

一應専門醫に

つきの斜視です。きけば整形眼

治りませうか

るものですが、子供が手術の苦

痛に動へる位の年齢(十四五歳

作品は没收

從つて多少速化す

、なるべく早く一應難院

ルキーの作品一切を押收

したのか、又斜視は登音するに

いが、疑述プロシア際経営局 はプロシア会上に亘つて有名

唯何によつて針視を起

場合に應じて同感出来るものであい、等、種々であつて何れも共の情能したもの、演落のめしたもの | 単版の各態線を少し | 市中込區矢來町一五四其社、價三| | 上版の各態線を少し | 市中込區矢來町一五四其社、價三十級 | 中央佛教(九月號)發行所東京 | 中央佛教(九月二十五日號)發 ものであらうさ思 新刊品

船越光之丞閣下日

すべきを確信した。 会はデ発物を出し偏遠を推き起せんが穿り、再度散測に風雲を推き起せんが穿り、再度散測に風雲を推き起せんが穿り、再度散測に風雲を推き起せんが穿り、再度散測に風雲を描き起

漸く完成された大系著だ。 一使命として 三ケ年の刻苦 即於本 今四隣迫害の禁 書はそれを











・十歳位にも 小型総核の跳出さなるここが膨々 日曜に咳が強くなつて、一週間もなりて大きまると同時に に迷惑をかけるやうになるのです 感するもので、錯減の軽減は動きるとかりまると同時に かりも無熱ださて餘減や衰しなか なければ別段の苦痛もなく、一寸まると同時に かりも無熱ださて餘減や衰しなか なければ別段の苦痛もなく、一寸まると同時に いから無熱ださて餘減や衰しなか なければ別段の苦痛もなく、一寸まると同時に いから無熱ださて餘減や衰しなか なければ別段の苦痛が出るだけ かりに変が出るだけ ですが、このカタル脚が過ぎると かりに変が出るだけ ですが、このカタル脚が過ぎると 親御さんの心得 ですが、このカタル努力する。 を、明く感覚性の感が出るやうに そ、明く感覚性の感が出るやうに ない。では他でを明方には特にひど ない。では他でを明方には特にひど ない。では他でを明方には特にひど ない。では他でを明方には特にひど

まずることが一番です。この注射はことではなるべく早期に診で置つて、百日際殿假に診で置つて、百日際殿假 によつて一變して駿河質になる例。 上し命なうばはれる程です。又今脈で、一年未滿の乳見など半數以脈炎で、これは普通の脈炎より重

八九年に渡つて自ら附され 一八八九年に蘇の弟子の一ト ものである」を書かれてゐる ルストイ翁が一八八八年から

ないこ思ふ。我々日本の作家造はないこと。の非難に對して反省する必要はなからうか?。曾て日十一流作家達の締がフランスで展践された時達の締か見て「これは緯であるが他のであるが他のは緯で無い、この粛家の締なら蒐した。

日本の洋流がフランスのそれに比べて絶えず非難され居る主なる
動は大體次の三つを舉げる事が出

> でこの『ヒットラー像』 た置み、特に戯恍繁章なもなっ、近時外歌はナチスの楽画遊出、ヒットラー像」 たとったのが動物である。近時外歌はナチスの楽画遊出、ヒットラーをできると同様にもり、世界注釈の前となると同様にあるとの後に動けてでなり。 是で國を救ひ人を救ふ

非常時突破e大出版 定價 **圓五**

淡山(藍)

社長以上の長街

本家楊旦合資會社

「育見の立」 無代道品 作の意見という日本











幼稚園兄や小學校下級生間に

見から流行

・ 供ご遊はせないここ、若し米版中 せん。能断法こしては咳をする子 せん。能断法こしては咳をする子 職するを共に、丈夫な子供にも感 はたものさ見て感像ワクチンの ではいましたもので見て感像ワクチンの

ざい為に赤ん坊はよく乳を吐き、く脳炎を体験するのです。咳がひ に栄養が衰へ、叉脱腸や中耳炎を幼兒もよく嘔吐を起し、このため 高を表した。 気管支炎は勿論小さい子なごよ 一番恐しいのは百日咳 充分に踊らせること、称ちやんが 香んで直ぐ咳のために叶乳したら

許註を書き入れたバスカルのトルストイ業が鉛筆で凝山の

「隨想錄」評註

トルスト

「魔態録」がクリミヤ半島の

家庭の處置さしては荣養を

です。熱が無ければ日甲は空氣の 咳の鎖まるのを待つて又否ませる アンタゴニンミいふ百日咳用の吸って日光深かさせ、暖かびごければ 或る町の間と語から最近一数見 トイの秘書イワノフの筆で、された、本の表徴にはトルス てこれらのノ

はすべてト

校での他継続にで動って女際での他継続にできまってすが、南京特別市長が、本が連ですが、南京特別市長が、市京特別市長のはモー 新生活運動にの、孔子 能りならぬ ◆但し南京のお話し 解世の歌に就て

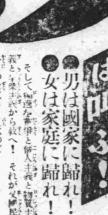
何か多いのは常然である た。 (つどく) 電影に代表館に扱いて見 限りもなく報出して § 5)。 哲人、女人然人乃至は美人機姫齢 り古来英雄意傑、志士は人、概念 から、動世の歌も甚だ大量であった。

滿洲女流美術會

歌や句を作り得る でない。

つて居るさ云ひ得

驚くべき大冒険







俊繁、不安、巍峨に



とて急廻轉と初めた

さてあた順回構選を提げて起ち上り、環外時代の 大意のドン底から、

恐怖する者は誰か? 狂喜する者は誰か? 見よ新世界の彗星

ヒットラー

者の味が歐洲の天地に狂繍を存き起され

元感"世界は彼を中軸と

ロットラーは大統領にな

望と光明と力の限りない噴泉だ! 進だ。讀む者悉く熱狂奮起する希 ・一



ざこまで

苦難突破の道開け 英雄心は爆發する! ●あ」 その大信念! 興味の氾濫だ。新知識の渦巻だ。 ●あ♪ その祖國変! ヒットラーの大生涯は小説以上

> 伸びょ 一途に健康へ

病を精蕩して 藥効に小見諸

奇しくもなき すくノ

伸びよ

(四)

、よりも導けり

手のつけられれて思はれる白痴に なるやうなものであります。彼の なるのであります。彼の

等が救はれの群に、寂しさや、ひない事で、この爲如何に多くの彼

ノアール作

九四九

を配し、ごこれを配し、ごこれを配し、ごこれを関係さられた。 を配し、ごこれを関係されていた。 を配し、ごこれを配し、ごこれを配し、ごこれを配し、ごこれを配し、ごこれを配し、ごこれを配しています。

彼等を此つたり罵ったり

き、常人の考へ及ばざる特殊の教

たさへば数室に

側端に育てる事は自尊心なって行つたかであります。

方針次第で立派に一人前になる

年出にイの字を就へる――マイナさな次の一年間で就へ、や自の机の前に腰かけるこれを介の上の根の前に腰かけるこれをできません。

めて氣長に反動

しての印象派は、マネ・モネの 年代の印象藝術上の現象はこの 二人のみに見られるのでなく、 幾多のグループがこれに合奏し

がら、いつも既 等有名である。

たる彼等なプラスに仕立てい

に叱るな、罵るな

能見の教育

性病 軟梅毒、疳病 朝









アムルジョンペイント



寝る前の **睡眠中の口内残津の腐敗を防ぐ** 仁丹幽翳に結ぶ夢の圓らかさ 園

十一十八八

大教育科委員の思想

新著 ((四次甲最十級本正價 金黃面

中耳炎 Ę 長時間有效

、適常の温度にて厚く貼布 すれば約一畫夜効力を保 すれば約一畫夜効力を保 ・エキネスに思認の直行及 が淋巴衝壊を特進し、素 変の排除を促進せしむ。 素の排除を促進せしむ。 素の排除を促進せしむ。 素の排除を軽減し、 動を下降せしめ、患者を しめ、安教性の感を懐か しめ、安都に且つ自然的 に睡眠せしむ。 に睡眠せしむ。



五〇〇五入二五〇五入

エキホスと御頼名を乞ふ類似品あり

洋 服

* * * * 電話七〇二〇番イワギ町回活館とナリ

は

カベ連科力ベックス

一備道 .

精力絕倫

タに

宮內省御用達大倉恒吉商店吟醸

は 松艺

電川学

水性力で塗料

型錄御中越次第贈呈

ロニア

芳醇

秋さわ

やかに

風味杯

そいろに樂し

この酒のうまで

うまさー

をのむそれで一日爽

日の出を舞む

偶然ではありません。

(告廣面全)

く描に間空

(六)

地。空。 爽。新。にに や秋。 か サラッと 高らかに讃へませう。早く、解消して の日焦けを りの黑さを

美しくなる。 お化粧にも

かに色白く

賞 品 三等 一等 ウテナ化粧料試用瓶 **類ウテナ日記** 武萬名樣

發締 表切

昭和九年十二月十日

を發送いたします。一等賞籤者氏名を發表、同時に賞品東京日々新聞、大阪朝日新聞紙上に

中上げまず。販賣店では扱ひません。 中上げまず。販賣店では扱ひません。 中上げまず。販賣店では扱ひまで三銭ごで、東京市本郷區本郷二丁目では、必ず封書(約四匁まで三銭)で、東京市本郷區本郷二丁目では、必ず封書(約四匁まで三銭)で、東京市本郷區本郷二丁目でさい。(他の用紙・司) 一等 伊勢崎お召銘仙 參千名樣 貳千名樣

右の解答は一 の一個國を開いて、その裏面にお書き入れくウテナ化粧水、ウテナほゝ紅等ウテナ化粧品品が、カテナは、紅等ウテナ化粧品のテナイン・ウテナクリーム(等、月、花、レモン)ウテナ 住所氏名。 ウテナ白粉八色のうち二色 この新聞名。



二種以上の名。

ウテナクリ

開に掲載された野學博士を田

ワテナ雪印クリー

おヒゲ剃りにも

ウテナクリーム 雪印 (無脂肪) 雪印 (無脂肪) 三十二銭、六十四銭 花印 (脂肪性) 五十五銭、一個十銭 花印 (脂肪性) 五十五銭、一個十銭

7 事情團

ある、十二日同署で保護を加へた 大連水上警察署の係員を懐まして

このほか現在水上署の館置場には

斑鳩宮遺跡か

法隆寺伽藍の修理中に

ら古い頭の片二つ土器敷供鬱ら古い頭の片二つ土器敷供鬱

飛鳥時代の柱を發掘

つたので近く送還されるこさに 大のででで、送還されるこさに また過日満鮮無銭武道旅行を企 また過日満鮮無銭武道旅行を企 また過日満鮮無銭武道旅行を企 また過日満鮮に 東容中のさころけ に保護を加へてゐる

中であるが、その繁一歩さして家一人が不明さあつて途方に上書では家出人防止策につき考察」ものが根盤多いが、頼つ

(日曜金)

上水連大し加増りきつめが人出家の

電報があつたので、さ里より父が引き取りに

か多い、このはか彩露不和からさないふものや、知人を種つてさいふ。

がある、目下も日繁洋行から二 にその幹続方を依頼して來るし

と出来る

支銭人職合會を組織するに決した。 一覧の事性を突慢さして同會では北下の事性を突慢さして同會では北下の事性を突慢さして同會では北下の事件を対して、 尚令

三名、内上醫院から女一名の昵

さして一般によって、それに満州最級の難が依然 地における生活不安さ失業者で

るねてしま惱を員係の署

うち七名は釋放され「翠は満洲お遊野女人群の八名は取調べの結果

は内地の生活不安から

しむ。時代の哀苦。

鑑拒めば散々暴行 新京商業リ

う驚殺させこれに受するものは殺 ある 一の入つたチョコレー・などの土 は知つ てそ知

たが之等不良組を恐れ

志願者受付 獎學費支給

るもの縦出して北溝峡線を縦がては壁底の縦行ブランを選べて、大阪鮮浦では壁底の縦行ブランを選ぶ

つけてあたがこの分では同ウンで減りやしないかこのがしてあたがこの分では、 姫路師範は何れしれば の中止を申込んできた、 後の中止を申込んできた、 後の中止を申込んできた、 後の中止を申込んできた、 後の中止を申込んできた。 とれてあただけに事件の果へれてあただけに事件の果へれてあただけに事件の果へ

を控へてこの方面に

"噂も聞かぬ 當直の舍監は語る てそ知らの振りなして居た事質が

、白水金一、久保道郎、大賀異一、祭主像、大賀異一、祭主像、祭主像、

「新京電話」 紫直の一会監は語る小野君は平生から退舍の条引報いて登校しかゝる暴存の後引報いて登校しかゝる暴存の後引報いて登校しかゝる暴

來る

郷記権で殴り、暑中休暇要求しこれを掴んだもの

来京、直に壁被當局を訪い事情を一十五分養別車にて二日午後三時二十五分養別車にて 事件は父兄側さして默認し得す数に減するこころあつたが同氏は本 チ事件に関し、被害者たる同校一

家計狀態調査を添へて十月二十五 者は難書に機模長の振龍者よび 素は難書に機模長の振龍者よび まが、高等裏階般核、大駅な 撃費支給者數は大體昨年度なみで 者の受付を開始した、今年度の 動態費支給の経動をなすべく志願 が要要支給の経動をなすべく志願

WWWWWWWW

満洲國ス

の 大小八日一先う戦身赴低し戦リ熊本 変帯等氏(こ)ら素と満洲に呼び寄まる (本) 大脚の (本) はの (大脚の (か) に大脚の (な) を (本) を (本)

店、彩底等よりとしての各部 京城十三日發國通 要項大要決定さる

の感謝し、虐殺された一、名の外體投査し、虐殺された一、名のが體投査した一、名の外體投査

の保護の保護

日米對抗競技

なは適いなものには就職口の斡旋

方米選手は大連の競技を終へて新 京における無関係機理の概理会に 京における無関係機理の概理会に がなった、競技大会に関する変強 決定、主能者明鮮陸上競技協會で では電像を進めてゐるが一

赤系幹部に

迫され加擔

南部線襲撃の匪賊に通謀した

露滿人十數名捕る

れてる一輪へてゐる

月下旬城東原城に展開さ、競技大會に関する要項

- る朝鮮側選手は目下人名位の見込の日本選手は未定なるも は日米を組合せ朝鮮

安大バス復舊

味をよんでゐる

順中突然地下二尺五寸の所か で独議の網並式建物と見られ 脚・突然地下二尺五寸の所か で独議の網並式建物と見られ 脚・整修理を行つて居るが十一 は郷で鴨桃で直密一尺五寸及 の された。 の ら柱の頭が大きくして教見を で

不テイームには總 に於いて旅客列車な襲撃した順敗

于學忠訪ひ 嚴重抗議 虐殺事件績出に

特に滿洲國側の市民にも贈與

安東の水禍に満鐵

金を贈る

萬圓の

め方事懐を考慮し今回際川道級よ

新で目下ボーリングを行ってる 高が來年中に追加策算な以で」 高が本年中に追加策算な以で」 ある

見舞金を贈ることゝなつたもの

age出に對しては未々個別的に る直接被害加蒙のた大小工場。 る直接被害加蒙の氏地におけ

滿洲山護國寺

新京寬城子の聖地に

曖拜堂を建

宣傳で日本の威信を冒瀆するが 最近停戦地區内に於て不幹事件 最近停戦地區内に於て不幹事件 **全部を逮捕、十二日午後**

は選述して来た。これら連 を初めり職人十名流人數名 中には選証前前電燈を明確 中には選証前前電燈を明確

税して世事

明確その他數氏養賦で記滅子の撃地を遂び三貫圖の建築有限をの他數氏養賦で記滅子院長大西多吉氏、同職和會長

新意

新京豫選會

『新京電話』大高洲帝国庭珠殿官 ・主職家一匹弘國秘武庭職大館新京 ・主職家一匹弘國秘武庭職大館新京 ・主職家一匹弘國秘武庭職大館新京 ・主職家一匹弘國秘武庭職大館新京 ・主職家一匹弘國秘武庭職大館新京

を 長続を 温撃さる 長続を 温撃さる

しまの、やまさごゝろの華に 身をすてゝ義にたつ君はしき 臓

(本店)新京 ンイザデル新術 械機制證保 行洋 五、六の瞬日新京に於て階艦の同 大会新京代表さもて出場すること になつた、スコアー左の如し 馬原田(大) 666

同大物は範疇をさして日瀬日路の同大物は範疇をあれてぬた大迫側遊大将は十二日午後四時逝去した草年八十一二日午後四時逝去した草年八十一 ▲シングルス同上 大迫大將逝去 原田(大) 666 422 馬楊(局)

間島圖們市陽明街の川邊英治郎

なる一昨年十月十七日興版に 私も一昨年十月十七日興版に ものです、今回の村上氏の行 ものです、今回の村上氏の行 ものです、今回の村上氏の行 無一物の身ですが御本人及び 無一物の身ですが御本人及び 御家族のここをと思って坐覗す るこ忍びず我に些少ですが金 るころびで我に生少ですが金 るころがなるべく御修選を願ひ さ微聴に基く感激さ同情を述べ

萬全を期して居ます

是非一度御來場を・・

表後に新京三笠町間ごさささんか 表後に新京三笠町間ごさささんか

WWW WWW WWW ######### CHURNER! SELECT

金二十一圓二十五銭、大運第一生徒有志一同

寄附者芳名 村上氏表彰金

金二十圓

出熊鎮人宇天濟 席本西吉士草 申中中中中中 學學學校校校 大 所長長長長長

田島庭谷崎

大連桃源堂 和田敬三

令兄

なしめる如きは継続記さくる旨い で等に名を乗り解決の時日を選近 である如きは継続記の時日を選近 十字の最高議院の職で、一八六七年十字の最高議院の職で、一八六七 金十圓 三菱商事會社大運大店 金十圓 三菱商事會社大運大局區町內會 大連伏見臺兩區町內會

鮮人會起つ

新正・七子、 ・ 十二銭に換算す。 界計千百五十五圓九十五段也 金金金金 山海關小學校六年組內美津子 三國 大連糖町 複村 善吉 三國 大連糖町 複村 善吉 三國 大連糖郎 田中 助藏 監順 小川 武雄 上間 旅順 小川 武雄 上間 旅順 小川 武雄

累計に於ても十日、十一日分は 也新京議家版館石野澄子氏は金 也新京議家版館石野澄子氏は金

山海鵬小敷校型常六年生の堀切山海鵬小敷校型常六年生の堀切った会は著行賞さしております、此感激する一人であります、此感激する一人であります、此感激する一人であります、此感激する一人であります、此感激でございます、近感激でない。 ・ ものでないます、何卒細社である味の減ぐましい手続かない。 ・ ものでないます、此の表彰金の中に御加へ下さいます。 ・ ものでは、「参考」と ・ との意味の減ぐましい手続かな本 ・ との意味の減ぐましい手続かる。 ・ との意味の減ぐましい手続かる。 をでいるがその二三を繰っ を変えて会議を地よりを極の反。 を変えて会議を地よりを極の反。 を変えて会議を地よりを極の反。 を変えて会議を地よりを極の反。 を変えているがその二三を繰っ

目種業營 新車豐富陳列、 乞御來觀

田

場より腕利を招聘し、最新式のモダン料理店として來る サービスを致したいと考へ館内の整備は勿論調理師も本 女軍十數名を連歸りました、殊に國際都市として大速で 十五日午後九時より開館し、其味覺とデビュー の一角に聳えさしました、而して皆様に百パー は恐らく他の追從を許さねと迄誇りのモダン建物を西町 此度第一回先發隊として京阪地方より美くしい垢拔した セント 0

星 電話〇以三一番

四

| 「一大阪特電十二日餐」大連市や伊藤を騒ぶっるが武士の程度は同じて、大阪特電十二日餐」大連市や伊藤を騒ぶして撮影がの総代表との他を修選を方を観響する名が出送、満洲麻椒角を移動の名類を振動して最近在 | へ明である 緊要され長統十八個を強勢された。 関数時間の後警察分談は再販の賃 撃せる約四十名の影響を衝突、交 型での対象は再販の賃 食 和 洋 百貨 洋莨 洋酒 にんにく 俄然 計 壓倒的賣 連鎖街二星洋行 告 漬 行 大瓶 六十五錢 •一六一五童 • O

字記念切手

第十五回國際會議を機に

遞信局も賣捌

5

とうださん。 ・ では、 、 では、 ・ では、 ・ では、 ・ では、 ・ では、 、 では、

北

滿

は

森市會議長

調停に乗出す

南部線の事故から

怯える内地視察画

急

六錢

用口光多数11.0km

き希望も有之候やに御座候就では來る十六日左記の通り歡迎會相能度候間何卒御出苑被下度此段十五日午後四時四十分大遠聽者の旨通知に接し候而已ならず常地先輩知友さ一夕の懇談を交へ度今回郷里熊本縣下各中學校長各位の新京に於ける臨時總會に出席た兼泊鮮滿支視祭の途來る九月 福五木古石佐記

源法源莞 榮 藏眼三示定太 歡迎會場 遼 店

木

當日回持参のこと 會 費 金參園

熊 勢町背柳へ電話六七二七) 縣 會

位

連

店理代觀洲清 四五通際山市連大 築

篠原劑 **塗外** 擦用 議済代理店大連市聖徳街四丁目二二四

大黒尾瀬岩電話九八七四番をお試し下さい殊に肺ロクマク神經痛の方へあらゆる服薬療法も効なき方最後に一度本劑

ジペオボラカ エツーンサデ ムボデラー シードルクルク 設營業 所 · 操合自動車 乘用自動車 開設

田本ゼネラルモータース株式會社 | 東徳洋行大連支店 | 本地・南部 | 東徳洋行大連支店 | 東徳洋行大連支店

飛橋河島ミシン電話六六八四

て一品ばかりの肴こ又酒を買って「そんなものかな。時に老爺、何

がふ水の 音。此の状態を見ていれる水ので、サブイートーへと、岸に水あれやうになり、ドド

不二タイプ原紙 高級事務用品 高級事務用品 高級事務用品

京大氣堂 一家話二四二五番

安

*#厚司作業服スポン

部商店

自然回復を対して、一百円の対し、

や百

B

知三四九番 堂

「コレ考爺、曇つてまるつたやう

ます 西公園町一四三中停近 丘堂職大 純シエバード背黒ウルフ

大連年乳株式倉紅電四五三七番 大連年乳株式倉紅電四五三七番

十三日より大連新開社工具の名場全接等日本版を表現の名場全接等日本版を表現の名場全接等日本版を表現の名場全接等日本版を表現の名場全接等日本版を表現している。

繁宝四三七さかい本店 である。

蓄音器 修繕は

日滿ラヂオへ

三三一町園公西市連大 (奈文文章電解門正園公安町) 昔 九 五八四 話 電

仕立京吳服卸

派遣多忙會員至急募集 減心看護婦會主 東總衛一丁目三四六 東總衛一丁目三四六 東總衛一丁目三四六

でございませう」 「熱し、大暦な人出であるな。何 「熱し、大暦な人出であるな。何

强力治淋新藥 强力治淋新藥

常陸町渡邊商天電話六八四一番

白帆・天帆高級御化粧紙は

大連市西通九三大連市西通九三大連市西通九三大連市西通九三大連市西 松正山門 X 光線應用 大連市若狹町(電車向陽門前下

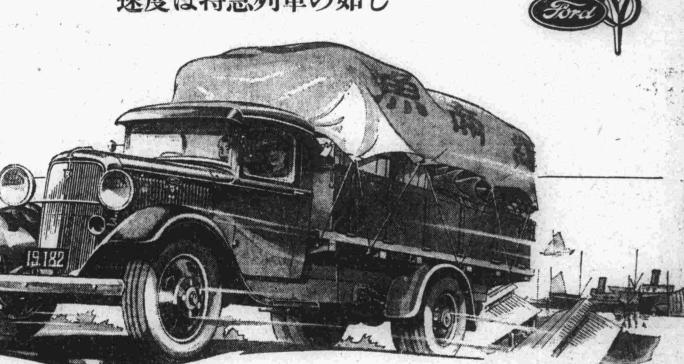
初田 A 大連市標在場上四大連市標在場上の横より入る

牽引力はトラクターに等しく 速度は特急列車の如し

大連西部看護婦會主 大連西部看護婦會主

さるさ、連がドンヨリン盛り、 過ぎるさ、連がドンヨリン盛り、 過ぎるさ、連がドンヨリン盛り、

四四九一番



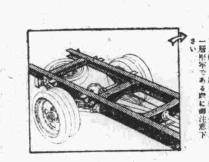
フォード V-8 トラック

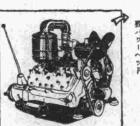
如何なる價格の他車よりも一層快速に走行します

同級の如何なるトラツクよりも一層堅牢で、より多くの重量品を選 撒する事が出來ます

ガソリン、オイルの消費と維持費に於てはフオード會社が之迄に製 作した如何なるトラツクよりも更に經濟的であります

詳細は何卒最寄のフオード特約販賣店へ御照會下さい





(可認物便到種三第) 電話三九七一番 四五洋山間各紙 〇九行通紙種屋 伊勢川東話三 暴行

三百錠・一圓五〇 各地有名類店に販賣

霜江

國産之王樣

トンボFP鑪

赤津 洋服店

電話 21323番地

借九六八七話電

步進人だ近代的頭腦藥

長特

?

横濱 日本フォード自動車株式會社 子安